

居宅介護支援 地域サポート虹

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):居宅介護支援サービス
 サービス種類:(介護予防) 居宅介護支援
 事業所名称:居宅介護支援 地域サポート虹
 事業所番号:1473500633 開設年月日:平成17年10月1日
 事業者指定有効期間(6年):平成29年10月1日～平成35年9月30日

(2) 所在地 〒247-0005 横浜市栄区桂町74番17号 サンパレス本郷台107号
 TEL:045-894-0671 FAX:045-894-0603

(3) 職員 3名 (常勤1名(訪問介護事業所の管理者兼任)、非常勤2名)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者(介護支援専門員兼務)	常勤1名	1名	0.1名
介護支援専門員	常勤兼務1名、非常勤2名	(うち兼務1名)3名	2.5名
(実人数合計)合計		(3名)4名	2.6名

※()内は兼務数を引いた実人数「(うち兼務〇名)数を引くと実人数」
 ※常勤換算:週35時間勤務を常勤と定め、週の合計勤務時間の平均/35時間=常勤換算
 ※管理者はりんどうの管理者も兼任(0.1)

(4) 契約者数(利用者数) 95名(平成31年3月)

要介護者	56名	平成30年3月実績48名
予防	39名	平成30年3月実績29名
合計	95名	平成30年3月実績77名

※常勤換算2.6名、常勤換算1.0名あたり36名担当
 ※ただし予防は1/2なので29名
 ※介護が+8名の予定ですが、施設入所、亡くなる等でマイナスも発生する見込みなので実質は年間で16人(新規受託、または要支援→要介護になる方)の要介護の受託見込み

【月毎の利用者人数】

(単位: 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	45	49	44	43	48	46	47	47	52	56	54	56	587
要支援	31	32	31	31	33	34	36	38	37	39	41	39	422
合計	76	81	75	74	81	80	83	85	89	95	95	95	1009

※月平均、要介護: 48.9名・要支援 35.2名、合計 84.3名 平均年齢84.5

(5) 運営方針

在宅の介護保険利用者を主として、ご利用者一人ひとりのニーズを捉え、ご利用者の気持ちに寄り添ったケアプランの作成を行った。
 ご利用者ご本人やご家族の立場に立ったきめ細かい対応が行えるよう、法人内の訪問介護事業所(りんどう)、通所介護事業所(すずらん)、小規模多機能型居宅介護(かりん、くるみ)、また近隣の介護事業所(5ヶ所利用)と連携してケアプランを提供した。
 今年度は要支援1、2の方は各ケアプラザのコーディネーターと連携し、地域のインフォーマルサービスを入れながら、介護保険サービスを卒業できることも念頭に支援を行った。
 地域のインフォーマルサービスを積極的に利用できるように各ケアプラザ、民生委員との集まりにも参加し今以上に顔がわかる関係を築いていった。
 年々、老々介護世帯及び、要介護者の独居世帯が多くなる傾向にある中で、在宅生活を支援していくためには、介護支援専門員のより良いケアマネジメントの資質向上が求められている。そのため、栄区医療連携室主

催の研修や、区、ケアプラザの研修にも積極的に参加し、訪問診療の先生、サービス事業所、包括支援センター、地域の方々と顔の見える関係を作っていた

管理者は主任介護支援専門員のスーパービジョンの勉強会に参加、ファシリテーターを務め、スーパーバイザーとしての役割を果たすよう努めた。

事業所内では、「報、連、相」を徹底し、困難事例などは、介護支援専門員全員で検討し、よりよい支援ができるように進めていった。

※在宅での生活継続支援のため、利用者(本人)の話だけではなく、介護者(家族)キーマンのニーズを把握することに日々努め、良質なサービスを提供するために、介護職員が技術、能力の向上に努めること。地域との連携、主治医、看護師、家族と常に連携・相談を行い、可能な限り在宅生活が続けられるよう支援を行った。

後期高齢者だけではなく、50 歳代の終末期の方々が最期をご自宅でご過ごせるよう、医療と連携し支援を行った。

(6) 営業時間 職員の休日 ※事業所運用規定のとおりとする。

月曜日～金曜日(祝祭日休み)： 9:00～17:00

※休日：土日祝日 12月31日 1月1日2日3日

※休日及び営業時間外は留守番電話の対応

(7) サービス提供地域 横浜市栄区の全域、港南区の一部、戸塚区の一部

(8) 利用料金 ※ご利用者は全額公費となり費用は発生しません。利用者負担0円。

※居宅介護支援を提供した場合の利用料の額は、厚生大臣が定める基準によるものとする。

①介護報酬(30年4月に改正)

1ヶ月あたりの料金(収入)	
サービスの内容	単位数(居宅介護支援事業所収入額)
居宅支援 I 1 : 要介護1又は要介護2	1042単位の100% (11,587円)
居宅支援 I 2 : 要介護3、要介護4又は要介護5	1353単位の100% (15,045円)
初回加算	300単位の100% (3,336円)
居宅支援退院退所加算 I 1	450単位の100% (5,004円)
居宅支援退院退所加算 I 2	600単位の100% (6,672円)
小規模多機能型連携加算	300単位の100% (3,336円)

※横浜市地域単価=11.12円 ※他にも加算があります。

②介護予防(委託費)

1ヶ月あたりの料金(収入)	
サービスの内容	単位数(居宅介護支援事業所収入額)
介護予防支援 : 要支援1又は要支援2	430単位の80% (4,130円)
初回加算	300単位の80% (2,882円)
連携加算	300単位の80% (2,882円)

※横浜市地域単価=11.12円

(9) 事業収支 資金収支計算書の通り

(10) 研修計画

①内部研修

実施月	研修内容		
4月	資料整理、マニュアル見直し	8月	倫理規定について
5月	栄区役所、栄ケアネット主催研修	10月	プライバシー保護規定について
6月	集団指導者講習会についての研修	12月	マニュアルの見直しについて
7月	認知症研修	3月	自己評価について

②外部研修

実施月	研修内容
4/23	課題整理総括表の書き方(笠間 CP 主催)
5/15	栄区居宅介護支援事業連絡会(栄区役所主催、栄ケアネット)
5/23	主任ケアマネ研修事例検討
6/21	グループスーパービジョンによる事例検討の進め方と実践方法(小菅ヶ谷 CP)
7/24	栄区新人ケアマネジャー研修(笠間 CP)
	主任ケアマネ主催退院支援に必要な社会背景
7/25	主任ケアマネ研修事例検討
8/30	サービス B ってなんだろう(豊田 CP)
8/31	主任ケアマネにきいてみよう(笠間 CP)
9/26	主任ケアマネ研修事例検討
10/16	訪問看護師の事例検討会(桂台 CP)
10/24	主任ケアマネ研修アセスメントに必要な面接技術を身につける。
10/28	認定調査員現任研修
11/13	福祉避難所を知っていますか?(栄区役所)
11/28	主任ケアマネ研修事例検討
12/12	事例検討会(小菅ヶ谷 CP)
12/18	医療とケアマネとの勉強会(小菅ヶ谷 CP)
12/19	栄ケアネット定例会 認定調査員研修(栄区役所)
1/16	薬剤師との事例検討会(桂台 CP)
1/29	ハートページの読み方(小菅ヶ谷 CP)
1/31	対人援助技術を学ぼう(栄ケアネット)
1/31	栄共済病院の入退院の実態と在宅への連携(栄区役所)
3/14	ケアマネに知って欲しい病気の知識。栄ケアネット総会(栄ケアネット)

※自己啓発のための研修受講予定日を考慮して勤務シフトを組む、費用の援助などを相談検討する。

- ・栄ケアネット区役所主催研修6回参加、主任介護支援専門員部会5回参加
- ・小菅ヶ谷地域ケアプラザケアマネ事例検討会(ハナミヅキ)(年2回参加)
- ・各ケアプラザ主催の研修参加(月 1~2回参加)

(11) 健康診断

- ・健康診断 1名 12月に実施
- ・インフルエンザ予防接種 3名に実施

※健康診断:全国健康保険協会加入者対象:協会の補助を受け費用負担約8,000円/1人

※インフルエンザ予防接種年1回費用負担3,000円/1人

(12) 苦情・相談対応

※苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応 : 公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(13) 外部監査等(介護情報公表など)

- ・介護情報公表(11/22 訪問調査実施)

(14) 検討課題及びその他

※運営方針に記載済み

訪問介護 りんどう

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):居宅サービス

サービス種類:(訪問介護相当サービス) 訪問介護

事業所名称:訪問介護 りんどう

事業所番号:1473500641 開設年月日:平成17年 10月1日

事業者指定有効期間(6年):平成 29年 10月 1日~平成 35年 9月 30日

(2) 所在地 〒247-0005 横浜市栄区桂町 74 番 17 号 サンパレス本郷台 107 号
TEL:045-894-7783 FAX:045-894-0603

(3) 職員数

13名 常勤 2名(うち1名は居宅介護支援事業所管理者兼務)、非常勤 11名

職名	勤務形態	登録人数	常勤換算
管理者 (居宅介護支援事業所管理者兼務)	常勤1名	1名 (居宅介護支援事業所兼任)	0.1名
サービス提供責任者 (訪問介護員兼務)	常勤1名	1名	1.0名
訪問介護員	非常勤12名	13名	1.3名
合計		15名	2.5名

※2018年資格 介護福祉士 7名 ヘルパー1級 1名 ヘルパー2級 3名 初任者研修 2名(管理者を除く)
 ※常勤換算:週 32 時間を常勤と定め、週の合計勤務時間の平均/32 時間=常勤換算

(4) 利用者数 24名 平均年齢:86.4 歳
内訳 要介護 6名

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1人	4人	1人	0人	0人

内訳 要支援 18名

事業対象者	要支援1	要支援2
1人	3人	14人

ヘルパー活動

要介護 : 身体介護 1 (20分以上 30分未満 248 単位) 11回
 身体介護 2 (30分以上 60分未満 388 単位) 6回
 生活支援 2 (20分以上 45分未満 183 単位) 7回
 生活支援 3 (45分以上 225 単位) 317回
 身体1生活1(身体1+生活2 312 単位) 87回
 身体1生活2(身体1+生活3 379 単位) 11回
 身体2生活2(身体2+生活2 455 単位) 1回
 要支援 : 訪問型独自サービス 923回
 介護保険外 : 自費サービス 79回

ヘルパー総活動時間数 : 要介護 480.33時間
 要支援 692.25時間
 自費 73.25時間

【月毎の利用者人数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	6	7	7	7	7	5	5	4	6	6	6	6	72
要支援	16	16	16	15	16	16	16	17	17	17	16	18	196
合計	22	23	23	22	23	21	22	21	23	23	22	24	269

※月平均、要介護:6名・要支援:16名 合計 22名

(5) 運用方針

地域の介護保険利用者を主として、住み慣れた家での生活を続けていただけるようお手伝いをするを目標とし活動した。事業の実施に当たっては、関係市町村、包括支援センター、地域の保健・福祉サービスとの連携をはかり、サービスの提供に努めるものとした。

介護保険外の仕事も積極的に受け、通常の訪問と一緒に自費での定期的な通院同行の利用に繋がった。今後も介護保険外のサービスで困っている事等にも目を向け、提案し支援していく。

(6) 営業時間 職員の休日 ※事業所運用規定のとおりとする。

事務所活動時間 : 月曜日～金曜日(祝祭日休み): 9:00～17:00

ヘルパー活動時間 : 月曜日～金曜日 : 8:00～17:00

※休日及び時間外は留守番電話の対応。

(7) サービス提供地域 横浜市栄区・港南区(但し、港南区は日野南5丁目から7丁目のみ)

(8) 事業収支 資金収支計算書の通り

(9) 利用料金 厚生大臣が定める基準によるものとし、法定代理受理サービスであるときは、その1割から3割額とする。

「支出:ヘルパー時給」	「収入:介護報酬」(単位×11.12円)
身体介護 : ￥1,600	394単位 = ￥4,381
生活援助 : ￥1,200	223単位 = ￥2,479
訪問型サービス : ￥1,200	1168単位(1ヶ月) = ￥12,988

※平均時給額 : ￥1,507 (総支払給与額÷延べサービス提供時間・事務含まず)

(10) 研修計画 事業所は、利用者・介護者両者のニーズを把握し、従業者の質的向上を図るための研修会を次のとおり設け実施した。実施予定日は、シフトを考慮して決定した。

①採用時研修 採用後1ヶ月内、新たに訪問することになった利用者宅への訪問同行時、ヘルパーとしての心構えと、介護技術の確認と指導を行った。

②内部研修

実施月	内容	実施月	内容
4月16日	訪問介護の心得 (個人情報の保護・法令順守を含む) 訪問介護に関する各種記録の書き方 その他 連絡事項	10月	認知症と認知症ケアについて その他・連絡事項
6月12日	感染症と食中毒の予防・防止について (事例検討含む) 訪問介護に関する各種記録の書き方について その他 ヒヤリハットの報告・連絡事項	12月	事故発生防止と緊急対応 その他・連絡事項
9月25日	高齢者虐待について 地域包括支援センターの社会福祉士による出張研修(りんどう、居宅事務所にて合同研修)	2月	身体介護の介護技術とボディメカニクス その他 ヒヤリハットの報告・連絡事項

③外部研修

- ・H30.5月16日 集団指導講習会
介護報酬改定。
- 5月22日 栄区訪問介護連絡会
第1部 総会。
第2部 基調講演 日野原真紀氏
医師 日野原重明を支えた家族の物語。
- 8月20日 栄区在宅医療相談室共催 小菅ヶ谷地域ケアプラザ事例検討会
精神障害の理解とポイント。
- 9月26日 小規模多機能を知るセミナー。
- 12月5日 すずらん運営推進会議。
- H31.2月15日 栄区訪問介護連絡協議会 第2回研修会
ヘルパーの皆さんに知ってもらいたい栄養の知識。

(11) 健康診断等

- ・健康診断 1名 8月に実施。
- ・インフルエンザ予防接種 4名に実施。

※健康診断:全国健康保険協会加入者対象:協会の補助を受け費用負担約8,000円/1人

※インフルエンザ予防接種年1回費用負担3,000円/1人

(12) 苦情・相談対応

※苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応 : 公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(13) 外部監査等(介護情報公表など)

12月17日 情報公表の調査実施。

(14) 検討課題及びその他

①利用者の獲得:高齢者世帯は増えていることから、訪問介護(ヘルパー)需要はあると考えるが、実際には「新規依頼の多くが、90代と超高齢世帯が多く、生活に行き詰ってからの利用開始となり、結果的には施設入所や病院への入院となり、安定した長期利用に繋がりにくい、ご利用様の出入りが多い」、「加齢にともない介護度が重度化、認知症状が進行し、在宅での介護が困難となり、前述同様に施設への入所になるケースが増えている」傾向にある。実際に現りんどう利用者も90代の高齢者が増えており、安定した運用を目指すためには70代80代の長期に繋がる利用者を獲得したい。そのためには、介護保険(訪問介護、ヘルパー)をもっと知っていただき、本当に必要な方々に支援していきたい。

↓

2月～3月に新規の相談が続き、実際に3件契約に繋がったが、ヘルパーの確保も困難となっている。りんどうの登録ヘルパーの対応可能時間等と一致せず、訪問に繋がらなかったケースも2件あった。新規の依頼は積極的に受けるよう努めているが、長年利用されていた99歳の男性が亡くなる、88歳の女性が施設に入所するなど、利用者の入れ替わりも多く、人数の増減は横ばいであった。訪問介護を知っていただく為、昨年同様にすずらん運営推進会議に出席し、民生委員にりんどうパンフレットを数枚持ち帰って頂いた。

②介護従事者(職員の獲得):ヘルパー募集の問い合わせが数ヶ月全く無い。ベテランヘルパーの定年が近づいているので、募集広告が多くの方の目に付くよう考え工夫し、登録ヘルパーを増やしたい。

↓

施設長によりヘルパー募集のポスターを作製、チューリップ一時預かり、おやこの駅ひろばの敷地フェンスに、ポスターとパンフレットを設置していただいた。

75歳のヘルパー1名退職。産休中だったヘルパー1名復職。

通所介護 すずらん

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):地域密着型サービス

サービス種類:地域密着型通所介護

:第一号総合事業 横浜市通所介護相当サービス

事業所名称:通所介護 すずらん

事業所番号:1473500674 開設年月日:平成 18 年 1 月 1 日

事業者指定有効期間(6年):平成30年1月1日～平成35年12月31日

※横浜市通所介護相当サービス:平成30年4月1日～平成35年12月31日

※平成 28 年 4 月から地域密着型サービスとなる、それ以前は居宅サービス

(2) 所在地 〒247-0005 横浜市栄区桂町279-4 TEL/FAX 045-894-7480

(3) 職員 19名 (常勤1名、非常勤18名) (平成31年3月末)

職名	(勤務形態)	人数	常勤換算
管理者 (看護師・機能訓練指導員兼務)	常勤1名	(1名兼務) 1名	0.6名
生活相談員 (介護職員兼務)	非常勤5名	(5名兼務) 5名	0.8名
看護職員 (機能訓練指導員兼務)	常勤1名、非常勤1名	(2名兼務) 2名	0.4名
介護職員	非常勤11名	(4名兼務) 11名	4.1名
機能訓練指導員	常勤1名、非常勤2名	(2名兼務) 3名	0.2名
事務職員 (介護職員兼務)	非常勤3名	(3名兼務) 3名	0.3名
送迎ドライバー (介護職員兼務)	非常勤5名	5名	0.8名
合計(実人数合計)		30名(19名)	7名

※常勤換算:週 35 時間勤務を常勤と定め、週の合計勤務時間の平均/35 時間=常勤換算

正看護師2名・ヘルパー2 級11名・介護福祉士 7 名(ヘルパー2 級と重複)

平成30年度職員およびドライバーの採用0名

(4) 契約者数(利用者数):38名 1日定員数:15名 1日利用者平均12.3名(平成31年3月末)

要介護者(介護)	25名	平成 31 年 3 月実績 25 名
要支援者(予防)	13名	平成 31 年 3 月実績 12 名
合計	38名	平成 31 年 3 月実績 37 名

利用者数 (平成 31 年 3 月まで 開催日 244 日) 平均年齢:86.9歳(72歳～97歳)

要介護者(介護)	2326名	9.53人/1日
要支援者(予防)	511名	20.9人/1日
合計	2837名	11.62人/1日

【月毎の利用者人数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日	20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244
介護	193	209	192	200	234	176	204	183	176	185	177	197	2326
支援	31	37	33	37	52	41	47	49	49	43	43	49	511
合計	224	246	225	237	286	217	251	232	225	228	220	246	2837
平均	11.2	11.7	10.7	11.3	12.4	12.1	11.4	11.0	11.8	12.0	11.6	12.3	11.6

(5) 運営方針

ご利用者の方々に、心身のよりよい状態を維持していただけるよう、ご利用者とご家族と居宅介護支援事業所と常に連携を図りディサービスを実施した。曜日ごとの特徴を生かし、豊富なプログラムを組み合わせ、ご利用者の希望に沿った活動を楽しみ参加できるように努めた。安心して入浴出来る設備とサポート体制で地域の方々のご要望に対応した。介護職員も同じ地域に住むヘルパーを中心に、ボランティアの方にも加わっていただき、各種プログラムの講師も地域の方をお願いするなど、地域とのつながりを大切に、心のこもったディサービスを実施した。介護職員の勉強会を実施し、質の向上を図った。新規利用者の確保のための営業活動も行った。

(6) 営業時間 ※職員の休日、就業規則のとおりとする。

- ・サービス提供時間(月曜日～金曜日(祝祭日休み))10:00～15:30(5時間以上サービス区分)
- ・営業時間(月曜日～金曜日(祝祭日休み))8:30～16:30
- ※休日:土日祝日 12月31日、1月1日2日3日
- ※休日及び営業時間外は留守番電話の対応

(7) サービス提供地域 横浜市栄区、港南区、戸塚区

(8) 利用料金

※厚生大臣が定める基準によるものとし、法定代理受理サービスであるときは、その1割～3割の額とする。

①介護報酬 小規模型通所介護費(1回につき) (5時間～7時間未満)

1回利用あたりの料金(収入)		
サービスの内容	単位数(1割)(2割)(3割)	内容
要介護1	641単位(688円)(1,375円)(2,062円)	1日につき
要介護2	757単位(812円)(1,623円)(2,435円)	1日につき
要介護3	874単位(937円)(1,874円)(2,811円)	1日につき
要介護4	990単位(1,062円)(2,123円)(3,184円)	1日につき
要介護5	1,107単位(1,187円)(2,374円)(3,561円)	1日につき
入浴介助加算	50単位(54円)(108円)(161円)	1回につき
サービス提供体制強化加算(Ⅰ)イ	18単位(20円)(39円)(58円)	1日につき
送迎減算	-41単位/片道(-51円)(-101円)(-151円)	片道につき

※横浜市地域単価(2級地)=10.72円 ※他にも加算があります。※2018年8月より3割負担導入

②介護予防 介護予防通所介護費(1月につき)

1ヶ月あたりの料金(収入)		
サービスの内容	単位数(1割)(2割)(3割)	内容
要支援1	1,647単位(1,766円)(3,531円)(5,297円)	1月につき
要支援2(週1回程度)	1,647単位(1,766円)(3,531円)(5,297円)	1月につき
要支援2(週2回程度)	3,377単位(3,621円)(7,241円)(10,861円)	
運動器機能向上加算	225単位(242円)(483円)(724円)	1月につき
サービス提供体制強化加算(Ⅰ)イ 要支援1	72単位(78円)(155円)(232円)	1月につき
サービス提供体制強化加算(Ⅰ)イ 要支援2	144単位(155円)(309円)(463円)	1月につき

※横浜市地域単価(2級地)=10.72円 ※他にも加算があります。※2018年8月より3割負担導入

③介護職員処遇改善加算(1月につき)

1ヶ月あたりの料金(収入)	
サービスの内容	内容
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	(介護報酬総単位数×5.9%(0.059))×10.72円

(9) 事業収支 資金収支計算書とおり

(10) 年間行事報告および研修報告

①年間行事報告

実施月	イベント内容		
4月	お花見外出(鎌倉霊園,いたち川沿い)、手芸作品(サクラ)、すずらん通信1月～3月号配布	10月	情報公表、すずらん通信7～9月号配布、フラワーアレンジメント、手芸作品(カゴ、案山子の壁画、お花のポップアートカード)
5月	第4回運営推進会議、手芸作品(すずらんの貼り絵、バラの貼り絵、折り紙で紫陽花)	11月	栄区作品展、第5回運営推進会議、手芸作品(クリスマスリース)
6月	どじょっこ会「安木節」、手芸作品(七夕飾り、折り紙で傘、絵手紙)	12月	フラワーアレンジメント、フラダンス、トーンチャイム、ご家族参加イベント、手芸作品(サンタのカード、イノシシのストラップ、お正月飾り)
7月	日本訪問歯科協会「お口の健康相談会」、すずらんアンケート実施、手芸作品(朝顔)すずらん通信4月～6月号配布	1月	正月遊び、すずらん通信10月～12月号配布、手芸作品(イノシシの置き物、イノシシの貼り絵、梅のメモスタンド、椿の一輪指し)
8月	入り口に看板設置、手芸作品(ひまわり、お花紙のハイビスカス)	2月	節分遊び、地域密着型指導者集団講習会、手芸作品(梅の花、リボン付きカゴ、ちりめん楊枝入れ、イノシシ貼り絵)
9月	各曜日防災訓練の実施、手芸作品(紅葉とホオジロ、折り紙でフクロウ)	3月	手芸作品(サクラの花、パンジーの花、雛飾り、苺の壁飾り)

※誕生会として、各月の該当月生まれの方をお祝いする。(写真入りメッセージカードのプレゼント)

※毎月季節感ある手芸作品の作成。

※運営推進会議に向けて準備および実施(6ヶ月毎に開催)

②研修報告 従業員の質的向上を図るため、月1回のミーティング時にテーマを決め勉強会を行った。

- ・採用時研修 平成30年度 職員採用0名
- ・内部研修

実施日	研修内容		
4月25日	入浴介助	10月29日	感染症と食中毒&その予防について
5月28日	個人情報、プライバシー保護	11月28日	トイレ介助と排泄管理
6月27日	倫理規程および法令遵守について	12月26日	事故発生予防等、緊急時の対応について
8月29日	認知症	1月28日	身体拘束・高齢者虐待について(※)
9月26日	非常災害時について、防災訓練	2月25日	業務マニュアル及び各マニュアルの見直し
9月26日	防災訓練について	3月27日	来年度の計画について

※高齢者施設における虐待について一斉点検(アンケート)の実施

(11) 健康診断等

- ・健康診断 2名実施
- ・インフルエンザ予防接種 6名実施

※健康診断:全国健康保険協会加入者対象:協会の補助を受け費用負担約8,000円/1人

※インフルエンザ予防接種年1回費用負担3,000円/1人

(12) 苦情・相談対応

※苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応 : 公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(13) 介護サービス情報の公表等

- ・介護サービス情報の公表、10月書面調査

※訪問調査 平成30年11/14に実施済

- ・運営推進会議 6ヵ月毎 年2回 実施活動報告及び活動の改善について会議(平成30年5/29、12/5実施)

メンバー:栄区高齢支援課職員または包括支援センター職員、自治会役員、民生・児童委員、地域ボランティア、利用者ご家族

※平成27年度から外部評価の実施方法が変更となった。

事業所で行った「自己評価」を、運営推進会議のメンバーから評価を受ける。

グループホーム さくらそう

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):地域密着型サービス

サービス種類:(介護予防) 認知症対応型共同生活介護

事業所名称:グループホーム さくらそう

事業所番号:1493100067 開設年月日:平成19年12月1日

事業者指定有効期間(6年):平成25年12月1日~平成31年11月30日

※平成31年9月13日までに指定更新申請を完了予定

(2) 所在地 〒234-0054 横浜市港南区港南台1-10-8 TEL/FAX 045-830-5277

(3) 職員 11名 (男性3名、女性9名)(常勤3名(うち1名短時間正社員32時間)、非常勤9名)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者 (介護職員兼務)	常勤兼務1名	(1名兼務) 1名	0.5名
計画作成担当者 (介護職員兼務)	常勤兼務(短時間正社員)1名 非常勤兼務1名	(2名兼務) 2名	0.2名
看護師 (介護職員兼務)	非常勤兼務1名	(1名兼務) 1名	0.1名
介護職員	常勤3名・非常勤8名 (短時間正社員1名)	(うち兼務4名)11名	6.1名
合計(実人数合計)		15名(11名)	7.0名

※うち兼務〇名数を引くと(実人数)

※介護支援専門員:2名、介護福祉士:4名、ヘルパー1級:1名、ヘルパー2級:7名、准看護師:1名

(4) 利用者数 定員6名 利用者6名(満床) (男性0名、女性6名)

要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0名	0名	0名	2名	2名	2名

※平均年齢:85.8歳 (82歳、84歳、84歳、86歳、88歳、91歳)H31年3月実績

【月毎の利用者人数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
入院	0	4	0	0	1	5	0	0	6	0	6	2	24
実稼働日数	180	182	180	186	185	175	186	180	180	186	162	184	2166

※月平均、要介護:6名・要支援0名、合計6名

※年間稼働率98.9% =実稼働日数:2,166日/総稼働日数2,190日 (空室:0部屋・入院:24日間)

(5)運営方針

本事業は、認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な環境の下で、食事、入浴、排泄等の日常生活の介護及び日常生活の中での心身等の機能訓練及び作業療法を行うことにより、安心と尊厳のある生活を、利用者がその有する能力に応じ可能な限り自立して営むことが出来るよう支援することを目的とする。閉鎖的ではなく開放的に環境、家庭的な雰囲気、季節感を大事にし、寄り添いを中心とした介護・介助を行い、ターミナルまでできる限りの対応を行う。

※利用者(本人)の話だけではなく、介護者(家族)を含むニーズを把握することに日々努め、良質なサービスを提供するために、介護職員が技術、能力の向上に努めること。

※外部の人間の出入りを積極的に行う。家族を中心に、ボランティア、研修生の受け入れを積極的に行い、開放的な環境をつくり、

スタッフは質の向上を意識する。

※職員の多くが地域の主婦で構成し、地域性、家庭の雰囲気、メリットを意識し運用。

※主治医、看護師、家族と連携相談を行い、できる限りターミナルを意識し運用。

(6) 営業時間(年中無休) 24 時間 365 日(年中無休) ※職員の休日、就業規則のとおり。

(7) ご入居条件

認知症と診断されている方で、介護保険の要支援2以上の方

少人数による共同生活を営むことに支障がないこと。

自傷他害の恐れがないこと。

常時医療機関において治療をする必要のないこと。

※医師の診断書が必要です。※横浜市に住民票がある方。

(8) 利用料金(収入内訳)

① 介護保険の一割または二割負担分(月額) ※厚生大臣が定める基準による

要支援 2:24,281 円/48,562 円 要介護 1:24,410 円/48,820 円 要介護 2:25,568 円/51,135 円

要介護 3:26,307 円/52,614 円 要介護 4:26,854 円/53,708 円 要介護 5:27,401 円/54,801 円

② 各種加算 月額(1ヶ月あたり) ※厚生大臣が定める基準による

医療連携体制加算:1,254 円/2,508 円

認知症対応サービス提供加算:192 円/384 円

認知症対応型認知症専門ケア加算:96 円/192 円

認知症対応処遇改善加算 I : 所定単位数の 1000 分の 83 に相当する単位数

初期加算(初回利用日から 30 日間):963 円/1926 円

③ 保険外の費用(月額)

・家賃:70,000 円～83,000 円 ・食材費:36,000 円 ・光熱水費:17,000 円 ・共益費:15,000

・その他実費費用:レクリエーション材料費や参加費:実費(本人およびご家族の希望を確認し徴収)

日常的必要と思われる費用(利用者希望で生じた場合 実費で徴収)

④ 入居時費用

入居金 276,000 円～302,000 円

※ ③の保険外の費用(月額 138,000 円～151,000 円)×2ヶ月分 ※数金的な費用です。

(9) 事業収支 資金収支計算書とおり

(10) 研修及び行事

研修 事業所は、従業者の質的向上を図るための研修会を次のとおり設け、業務体制を整備する。

① 採用時研修 採用後1ヶ月以内 ケース会議 毎月1回

② 内部研修

実施月	研修内容		
4 月	感染症について(演習を含む)	10 月	重度化に対応できるスキル
5 月	高齢者虐待防止	11 月	認知症、本人や家族の苦悩
6 月	その言葉、その行為は拘束になっていないか 他	12 月	守秘義務と倫理規定
7 月	医療うあ看護や他業種との連携について	1 月	虐待防止のための自己チェック 他
8 月	助け合いながら:チームケアとは	2 月	楽しく優しいレクリエーション 胆管がん
9 月	感染症予防 誤飲・誤食 心肺蘇生 他	3 月	それぞれの利用者の生活歴から介護を考える

③外部研修

※自己啓発のための研修受講予定日を考慮して勤務シフトを組む、費用の援助など。

・介護職員喀痰吸引研修 1 名(H30 年 6 月)

・感染症研修 1 名(H30 年 9 月)

・認知症、虐待、事故防止研修:1 名(H31 年 1 月)

・横浜市地域密着型サービス事業者等集団指導講習会:1 名(H31 年 2 月)

行事計画

実施月	イベント内容		
4 月	お花見(北公園) 日野子供祭り(北公園)	10 月	運動会(自治会イベント) 夜間想定避難訓練・ハロウィン

5月	子供の日(自治会イベント:北公園)	11月	芋掘り 防災訓練(自治会イベント:北公園)
6月	七夕かざり 夜間想定避難訓練	12月	クリスマス会(家族会)
7月	夏祭り(自治会イベント:北公園)	1月	正月 獅子舞
8月	納涼会	2月	豆まき
9月	敬老の日(自治会イベント) 米寿の祝い	3月	ひな祭り

※誕生日会は、各月に原則として1回実施。当該月生まれの方をお祝する ※誕生日ケーキをおやつにする

(11) 健康診断等

- ・健康診断 社会保険加入者実施。
- ・インフルエンザ予防接種 入居者様および希望スタッフ実施

※健康診断:全国健康保険協会加入者対象:協会の補助を受け費用負担約8,000円/1人

※夜勤職員は健康診断年2回実施

※インフルエンザ予防接種年1回費用負担3,000円/1人

(12) 苦情・相談対応 特に無し ※苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応 : 公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(13) 外部監査等(介護情報公表など)

- ① H30年6月実施 外部評価(第三者評価機関:R-CORPORATION)
- ② H30年10月実施 神奈川県介護サービス情報の公表対応
- ③ 運営推進会議を年6回(2ヶ月に1回)実施 (結果を事業所内に掲示)
- ④ 身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会を④運営推進会議内に開催(2ヶ月に1回)
- ⑤ 介護相談員受入(港南区役所) 年6回(2ヶ月に1回)

(14) 検討課題及びその他

- ① 老朽化による修繕費用の検討。PWクロス網入ガラス等、エレベーター消耗部品交換等
- ② 利用者(本人)の話だけではなく、介護者(家族)を含むニーズを把握することに日々努め、良質なサービスを提供するために、介護職員が技術、能力の向上に努めること。
- ③ 自己啓発のための研修受講予定日を考慮して勤務シフトを組む。費用の援助など相談検討する。
- ④ ターミナル介護を行うにあたっての課題の整理を進める。

小規模多機能型居宅介護 かりん

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):地域密着型サービス
 サービス種類:(介護予防) 小規模多機能型居宅介護
 事業所名称:小規模多機能型居宅介護 かりん
 事業所番号:1493500126 開設年月日:平成 21 年 12 月 1 日
 事業者指定有効期間(6年):平成 27 年 12 月 1 日～平成 33 年 11 月 30 日

(2) 所在地 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 3-62-2 TEL/FAX :045-895-6006

(3) 職員 20名

(男性4名、女性16名) (常勤6名(うち1名、短時間正社員 32 時間)、非常勤14名)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者 (計画作成担当者、介護職員兼務)	常勤兼務 1名	(1名兼務) 1名	0.5名
計画作成担当者 (介護職員兼務)	常勤兼務 2名	(2名兼務) 2名	0.4名
看護職員 (介護職員兼務)	常勤兼務 1名	(1名兼務) 1名	1.0名
介護職員	常勤兼務 3名、常勤 3名、 非常勤兼務 1名、非常勤 13名 (常勤のうち短時間正規職員、1名)	(うち兼務 4名) 20名	10.0名
事務職員 (介護職員兼務)	非常勤 1名	(1名兼務) 1名	0.5名
(実人数合計)合計		(20名) 25名	12.4名

※()内は兼務数を引いた実人数

※(うち兼務〇名)数を引くと実人数

※常勤換算:週 40 時間勤務を常勤と定め、週の合計勤務時間の平均/40時間=常勤換算

※介護支援専門員:2名、介護福祉士:6名、看護師:1名、ヘルパー2級:14名、理学療法士:1名、無資格:3名

(4) 利用者定員 24名

登録利用者 16名 (男性 3名、女性 13名) (平成 31 年 3 月末) 平均年齢:85.6歳(69歳～96歳)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1名	2名	2名	2名	2名	4名	3名

※ご利用者登録定員24名 デイサービス定員15名 ショート定員7名(緊急時9名)

【月毎の利用者人数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	13	15	14	13	14	12	12	13	14	13	13	13	159
要支援	1	2	2	2	2	3	4	3	2	3	3	3	30
合計	14	17	16	15	16	15	16	16	16	16	16	16	189

※月平均、要介護: 13.25名・要支援 2.5名、合計 15.75名

(5) 運営方針:利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望およびその置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス、及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、妥当適切に行う。事業者は、利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者がそれぞれの役割を持って家庭的な環境の下で日常生活を送ることができるよう配慮して行う。

※在宅での生活継続支援のため、利用者(本人)の話だけではなく、介護者(家族)キーマンのニーズを把握することに日々努め、良質なサービスを提供するために、介護職員が技術、能力の向上に努めること。地域との連携、

主治医、看護師、家族と常に連携・相談を行い、できる限り在宅生活が続けられるよう支援を行う。

・外部の人間の出入りを積極的に行う。地域ボランティアの受け入れを積極的に行い、開放的な環境をつくり、スタッフは質の向上を意識する。・職員の多くが地域住民で構成され、地域密着型サービスとしての特性を活かし家庭的な温かい雰囲気運営していく。・認知症介護の相談窓口として地域に貢献していく。・主治医、看護師、家族と常に連携相談を行い、在宅で生活できる限り支援していく。

(6) 営業時間(年中無休) ※職員の休日、就業規則のとおりとする。

- ① 通いサービス 原則9:00～17:00
- ② 訪問サービス 原則9:00～17:00※緊急時24時間対応可能
- ③ 宿泊サービス 17:00～翌9:00

(7) サービス提供地域 横浜市栄区の全域、港南区の一部、戸塚区の一部

※原則として生活圏域(中学校区 施設から2～3km圏内)

(8) 利用料金(収入内訳) ※厚生労働大臣が定める基準によるものとする

① 介護保険の一割または二割負担分または三割負担分(月額) ※厚生大臣が定める基準による

要支援1 :3,703 円/ 7,405 円/11,108 円 要支援 2 :7,483 円/14,965 円/22,447 円
 要介護1 :11,229 円/22,457 円/33,685 円 要介護 2 :16,502 円/33,004 円/49,505 円
 要介護 3 :24,004 円/48,007 円/72,011 円 要介護 4 :26,493 円/52,986 円/79,479 円
 要介護 5 :29,212 円/58,424 円/87,636 円

② 各種加算 月額(1ヶ月あたり) ※厚生大臣が定める基準による

総合マネジメント体制強化加算:一割負担 1,088 円/二割負担 2,176 円/三割負担 3,264 円
 サービス提供体制強化加算Ⅲ:381 円/762 円/1,143 円
 処遇改善加算Ⅰ: 393 円～2,397 円/786 円～4,794 円/1,179～7,191 円(当月適用単位をもとに計算)
 認知症加算(該当者のみ) 加算Ⅰ:871 円/1,741 円/2,612 円 加算Ⅱ:544 円/1,088 円/1,632 円
 看護職員配置加算Ⅰ(要介護者のみ) : 980 円/1,959 円/2,938 円
 初期加算(初回利用日から30日間):一日あたり33 円/66 円/98 円

③ 保険外の費用

食費:朝食 350 円 昼食 650 円 夕食 650 円 ・宿泊費:一泊 3,000 円
 レクリエーション材料費や参加費:実費(本人およびご家族の希望を確認し徴収)
 ※ その他、日常的必要と思われる費用(利用者希望で生じた場合 実費で徴収)

(9) 事業収支 資金収支計算書とおり

(10) 研修報告および年間イベント報告

研修報告 内部研修

実施月	研修内容		
4 月	4/26 糖尿病について、食事の注意点	10 月	10/31 記録の書き方・低ナトリウム血症
5 月	5/31、口腔ケア、健康管理	11 月	11/30 個人情報保護・プライバシー保護
6 月	6/29 認知症について	12 月	12/27 リスク管理・インフルエンザ対策
7 月	7/31 緊急時の対応(救急)	1 月	1/31 ライフサポートプランの見かた、アセスメント 自己点検シート(職員用・管理者用)
8 月	8/31 サービスの質の向上・自己評価	2 月	2/28 高齢者虐待防止に係る一斉点検の実施
9 月	9/28 感染症予防について	3 月	3/29 外部評価総括表確認、次年度の検討課題・利用者アンケートのまとめ

研修報告 外部研修

※自己啓発のための研修受講予定日を考慮して勤務シフトを組む、費用の援助などを相談検討する。

・介護福祉士実務者研修1名 ・小規模多機能型居サービス等計画作成担当者研修1名 ・喀痰吸引等研修1名

実施月	研修内容		
4月	栄ケアネット 定例会・研修 地域包括での研修	10月	10/30 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント従事者研修(包括)
5月	介護支援専門員実務者研修～7月	11月	11/6, 7小規模多機能型居サービス等計画作成担当者研修
6月	栄消防署立入調査 地域包括での研修	12月	各痰吸引等研修開始～2月
7月	7/25 栄消防署主催:防災意見交換会	1月	1/29 ハートページの読み方講座(包括) 1/31 介護入退院の実態と在宅への連携(栄区)
8月	介護福祉士実務者研修開始～12月	2月	2/25 横浜市地域密着型サービス指導講習会 2/28 在宅における高齢者虐待について(小菅ヶ谷ケアプラザ出張研修)
9月	9/28 栄区感染症対策研修	3月	3/14 食品衛生責任者指定講習会(区役所)

イベント報告 (避難訓練等含む)

実施月	イベント内容		
4月	(桜の壁飾り) 4/3 お花見(小菅ヶ谷幼稚園) 4/6 かりんカフェ(習字)	10月	(柿の木の壁飾り作り) 10/5 かりんカフェ(おはな整骨院院長の健康体操) 10/22 かぜのこクラブハロウィーン仮装 10/25、26小山台中学校文化祭出品・見学
5月	(こいのぼり作り) 5/4～8 端午の節句(しょうぶ湯) 5/4 かりんカフェ(オカリナ&ウクレレ) 5/17 避難訓練 5/20 町内一斉清掃	11月	(クリスマスリースのペーパークラフト) 11/7～9栄区シニア展出品・見学 11/14 夜間想定避難訓練、消火器訓練 11/16 芋ほり 11/24 学童かぜの子まつり/かりんカフェ(骨密度測定～さくら薬局協力) 11/30 サンタクロースを作ろう(ボランティア講師)
6月	(あじさいの花飾り作り) 6/1 かりんカフェ(おはな整骨院～脳の活性化トレーニング)	12月	(クリスマスの飾り作り) 12/7(金)栄消防署査察 12/19 クリスマス会(ママ歌い隊)(ご家族利用者アンケート実施)
7月	(七夕飾り、ヒマワリの壁飾り作り) 7/5 かりんカフェ(音楽療法) 7/20 フラダンス&ウクレレボランティア 7/29 町内会夏祭り 7/24～8/2 デザートツアー	1月	(紙粘土のだるまさん作り) 1/11 かりんカフェ(書初め) 1/13 町内会サイト焼き
8月	(灯籠作り) 8/3 かりんカフェ(お習字) 8/17 かりん夏祭り	2月	(毛糸のブローチ作り) 2/4 節分(おに退治ゲーム) 2/8 かりんカフェ(にほんむかしばなし上映会)
9月	(敬老会の壁飾り作り、フラワーマグネット) 9/7 かりんカフェ(ハーモニカ) 9/17 敬老の日祝賀会&家族会 9/23 町内お祭りお神輿	3月	(桜の壁飾り作り) 3/1 かりんカフェ(オカリナデュオ) 3/15 本郷台小学校和太鼓演奏見学 3/17 小菅ヶ谷第1町内会震災時安否確認訓練 3/26 お花見(永谷天満宮) 3/27 お花見(区役所裏いたち川)

※誕生会は、各利用者の誕生日に近い利用日にお祝いする。おやつに誕生日ケーキをお出しする。

※かりんカフェ開催、毎月第1金曜日13:30～15:00 小菅ヶ谷町内会回覧板、掲示板にて告知する。地域の方々との交流を目的に毎月開催しています。将来の介護の不安等、介護のお悩み、一人暮らしの親の介護相談、認知症介護相談など、承っています。

(11) 健康診断等

・健康診断 7名 5月・11月に実施予定。

・インフルエンザ予防接種 9名に実施予定

※健康診断:全国健康保険協会加入者対象:協会の補助を受け費用負担約8,000円/1人

※夜勤職員は健康診断年2回実施

※インフルエンザ予防接種年1回費用負担3,000円/1人

(12) 苦情・相談対応 苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応：公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(13) 外部監査等(介護情報公表など)

- ⑤ 運営推進会議 2ヵ月毎 年6回実施活動報告及び活動の改善について会議をおこなう。
- ② 外部評価:事業所で行った「自己評価」を、運営推進会議内にてメンバーから評価を受け、後日総括表を作成する。
- ③ 介護サービス情報の公表制度、毎年1回、介護サービス情報を指定情報公表センターに報告。

(14) その他

5/22 デイサービス台所エアコン修理、6/1 シエンタ夏タイヤ購入、8/13洗濯機買い替え

小規模多機能型居宅介護 くるみ

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):地域密着型サービス

サービス種類:(介護予防) 小規模多機能型居宅介護

事業所名称:小規模多機能型居宅介護 くるみ

事業所番号:1493500134 開設年月日:平成 22 年 4 月 1 日

事業者指定有効期間(6 年):平成 28 年 4 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日

(2) 所在地 〒247-0008 横浜市栄区本郷台 4-28-12 TEL/FAX 045-893-7517

(3) 職員 19 名 (男性 2 名、女性 17 名) (常勤1名、非常勤 18 名)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者 (計画作成担当者、介護職員兼務)	常勤兼務 1 名	(兼務1名) 1 名	0.5 名
計画作成担当者 (事務職員、介護職員兼務)	常勤兼務 1 名・非常勤兼務 2 名	(うち兼務3名) 3 名	0.6 名
看護職員	非常勤 2 名	2 名	0.6 名
介護職員	常勤兼務1名、 非常勤兼務 2 名、非常勤14 名	(うち兼務 3 名) 17 名	6.5 名
事務職員 (介護職員兼務)	非常勤兼務1名 非常勤1名	(うち兼務1名) 2 名	0.4 名
(実人数合計) 合計		(19 名) 25 名	8.6 名

※()内は兼務数を引いた実人数

※うち兼務数を引くと実人数

※常勤換算:常勤勤務時間週 40 時間=1名で設定 ※計画作成担当者(介護支援専門員)は3名設置 うち 1 名は管理者兼務

※資格保持状況:介護支援専門員3名、介護福祉士9名、ヘルパー1 級1名、ヘルパー2 級 3 名、正看護師1名、准看護師1名、無資格 4 名

(4) 利用者数

登録利用者 15 名 (男性 0 名・女性 15 名) 平均年齢:84.1 歳(66 歳～94 歳)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0 名	2 名	5 名	2 名	4 名	2 名	0 名

※ご利用者登録定員24名 デイサービス定員12名 ショート定員4名

【月毎の利用者人数】

(単位: 人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
介護	14	12	11	12	12	12	12	12	12	12	13	13	147
要支援	2	3	2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	27
合計	16	15	13	14	15	15	14	14	14	14	15	15	174

※月平均、要介護: 12.3 名・要支援 2.2 名、合計 14.5 名

(5) 運営方針

利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望およびその置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス、及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、妥当適切に行う。事業者は、利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者がそれぞれの役割を持って家庭的な環境の下で日常生活を送ることができるよう配慮して行う。

※在宅での生活継続支援のため、利用者(本人)の話だけではなく、介護者(家族)キーマンのニーズを把握することに日々努め、良質なサービスを提供するために介護職員が技術、能力の向上に努めること。地域との連携、主治医・看護師、家族と常に連携・相談を行い、できる限り在宅生活が続けられるよう支援を行う。訪問医療を利用する利用者も増えており、診療時に同席して情報共有し、随時FAX等で報告するなど、顔の見える関係作りを続けていく。

※自宅や事業所で体調が急変し、救急対応が必要となるケースが増えている。家族、主治医、救急病院と連携し、臨機応変な対応と家族支援を行った。

※独居や老人世帯で在宅生活に不安がある地域住民について行政・地域包括支援センターから利用相談があった場合には、話

し合いを丁寧に重ねた上でサービスを速やかに開始できるように努めた。

- ※認知症の進行によりゴミ出しのトラブルが起きていたり、近隣住民とのコミュニケーションがとりにくい利用者について、家族と協力して民生委員や近隣住民への挨拶や情報交換を行い、利用者が暮らし続けられるよう支援を行った。利用者が庭で転倒して近隣住民に助けを求めているケースは、直後に民生委員から事業所へ連絡があり、速やかに救急対応をとることが出来た。
- ※民生委員や近隣住民と情報交換し、独居利用者の見守りや徘徊時の協力体制を確認した。見守りネットワークへの登録や、徘徊時に事業所へ連絡をしてもらう等の協力が引き続き得られるよう努めた。
- ※地域の配食・サロン事業を行うNPO法人と連携し、NPO のスタッフが事業所を見学、認知症の方への関わり方等を紹介した。配食利用中やサロンへ参加する利用者について気になる事があれば速やかに情報交換を行い、利用者の支援に努めた。
- ※行政、地域包括支援センター等と常に連携し、在宅の継続が困難となった場合や緊急対応が必要な際には、本人が必要な支援を受けられるよう速やかな対応を行った。
- ※地域ボランティアの受入れを積極的に行い、地域に開かれた環境を作った。スタッフは質の向上を意識して業務にあたった。
- ※運営推進会議での関わりをもとに、自治会や地域機関との連携をはかった。今後、自治会の防災担当者と連携し、夜間想定避難訓練の防災活動について協力を得られるよう進めていきたい。

(6) 営業時間(年中無休) 職員の休日 ※就業規則のとおりとする。

- ① 通いサービス 原則9:00～17:00
- ⑥ 訪問サービス 原則9:00～17:00※緊急時24時間対応可能
- ⑦ 宿泊サービス 17:00～翌9:00

(7) サービス提供地域 横浜市栄区の全域、港南区の一部、戸塚区の一部

※原則として生活圏域(中学校区 施設から2～3km圏内)

(8) 利用料金(収入内訳)

- ① 介護保険の一割または二割または三割負担分(月額) ※厚生大臣が定める基準による
 要支援 1:一割負担 3,703 円/二割負担 7,405 円/三割負担 11,108 円 要支援 2:7,483 円/14,965 円/22,447 円
 要介護 1:11,229 円/22,457 円/33,685 円 要介護 2:16,502 円/33,004 円/49,505 円
 要介護 3:24,004 円/48,007 円/72,011 円 要介護 4:26,493 円/52,986 円/79,479 円
 要介護 5:29,212 円/58,424 円/87,636 円
- ② 各種加算 (月額) ※厚生大臣が定める基準による
 総合マネジメント体制強化加算:一割負担 1,088 円/二割負担 2,176 円/三割負担 3,264 円
 サービス提供体制強化加算(Ⅰ)ロ :544 円/1,088 円/1,632 円
 処遇改善加算Ⅰ: 393 円～2,397 円/786 円～4,794 円/1,179 円～7,191 円 (当月適用単位をもとに計算)
 認知症加算(該当者のみ) 加算Ⅰ:871 円/1,741 円/2,612 円 加算Ⅱ:544 円/1,088 円/1,632 円
 初期加算(初回利用日から 30 日間):一日あたり 33 円/66 円/98 円
- ③ 保険外の費用
 食費:朝食 350 円 昼食 650 円 夕食 650 円 ・宿泊費:一泊 3,000 円
 レクリエーション材料費や参加費:実費(本人およびご家族の希望を確認し徴収)
 ※その他、日常的必要と思われる費用(利用者希望で生じた場合 実費で徴収)

(9) 事業収支 資金収支計算書とおおり

(10) 研修報告および年間イベント報告

研修報告 内部研修

実施月	研修内容		
4 月	成年後見制度 ※神奈川県リーフレット	10 月	高齢者虐待とは(栄区地域包括支援センター連絡会 社会福祉士分科会、栄区役所から講師 4 名) ※講師による資料、パワーポイント
5 月	マナー・接遇、入浴・足浴の介助 ※介護術(西東社)	11 月	高齢者の心理的傾向 ※「介護の知識」WEB 資料
6 月	食事介助、水分補給・摂取の工夫 ※介護術(西東社)	12 月	移動介助、自力で歩こうとしない方の介助 車椅子での階段移動 ※介護術(西東社)
7 月	緊急時の対応(救急)、119 通報について ※横浜市消防局リーフレット ※地域の防災・減災活動を学ぶための冊子	1 月	事業所評価

8月	小規模多機能とは 医療・地域との連携 ※小規模多機能型居宅介護のご案内 ※くすみパンフレット	2月	医療機関との連携、入退院時の対応 ※栄区役所・医師会 研修資料
9月	サービスの質の向上 自己評価 感染症予防・食中毒(インフルエンザ、ノロウイルス)※大量調理施設衛生管理マニュアル	3月	外部評価、身体拘束、高齢者虐待 ※自己点検シート(職員用・管理者用) ※身体拘束ゼロへの手引き ※横浜市高齢者虐待防止事業指針

研修報告 外部研修

※自己啓発のための研修受講予定日を考慮して勤務シフトを組む、費用の援助などを相談検討した。

・認知症介護基礎研修 2名、認知症介護実践者研修 1名

実施月	研修内容		
4月	栄ケアネット 定例会・研修 地域包括での研修	10月	栄消防署 査察課 立入調査 地域包括での研修
5月	地域包括での研修	11月	栄消防署 救急課 面談 地域包括での研修
6月	地域包括での研修	12月	地域包括での研修
7月	地域包括での研修	1月	栄区役所・医師会 入退院の実態 地域包括での研修
8月	地域包括での研修	2月	横浜市地域密着型サービス指導講習会 地域包括での研修
9月	栄区 感染症研修 地域包括での研修	3月	地域包括での研修

イベント報告 (避難訓練等含む)

実施月	イベント内容		
4月	お花見 ドライブ、散歩	10月	本郷台自治会 秋祭り/小菅ヶ谷小運動会 見学 フラワーアレンジメント 秋の運動会 消防設備点検
5月	鯉のぼりドライブ、散歩 避難訓練(地震) 運営推進会議 フラワーアレンジメント	11月	栄シニアクラブ連合会「趣味の作品展」出展・見学 運営推進会議
6月	春の運動会	12月	クリスマス会
7月	七夕 運営推進会議	1月	新年会 獅子舞 運営推進会議
8月	流しそうめん 夏祭り	2月	節分 安来節 ボランティア来訪 フラワーアレンジメント
9月	敬老の日 運営推進会議 作品展の作品作り 9~10月 南京玉すだれ ボランティア来訪	3月	運営推進会議(外部評価の実施) お花見 避難訓練(火災) 消防設備点検

※誕生会は、各月に原則として1回実施。当該月生まれの方をお祝いする。顔写真を貼りスタッフが寄せ書きした色紙プレゼント
当日出席の利用者とスタッフ全員でお祝い 誕生日ケーキをおやつにする

★以下の企画は、天候やご利用者の心身の状態が良好の場合に実施した

- ・自治会老人会主催「ふれあいサロン」への参加 対象:自治会居住者(随時) ・近隣公園(舞岡公園、小菅ヶ谷北公園)等へのドライブ、お茶飲み、自然散策 ・公共の展示場「リリス」や「あーすぶらざ」での鑑賞イベントや展示会の見学(随時) ・NPO「積み木」でのイベントへの参加、ハッピーランチ(食事会)への参加

(11) 健康診断等

・健康診断 1名 2月に実施

・インフルエンザ予防接種 19名 11~1月実施

※健康診断:全国健康保険協会加入者対象:協会の補助を受け費用負担約8,000円/1人

※インフルエンザ予防接種 年1回費用負担3,000円/1人

(12) 苦情・相談対応 苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応：公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(13) 外部監査等(介護情報公表など)

- ① 運営推進会議 2ヵ月毎 年6回 実施活動報告及び活動の改善について会議を行った。
メンバー:包括支援センター職員、区職員、自治会役員、民生・児童委員、福祉に知見のある地域ボランティア、家族、利用者
- ② 外部評価 職員「自己評価」、事業所「自己評価」をもとに、運営推進会議のメンバーから評価を受けた。
- ③ 介護サービス情報の公表制度、毎年1回、介護サービス情報を指定情報公表センターに報告。

(14) 検討課題及びその他

- ① 開所10年目となり、湯沸し器1機を交換を実施した。残る1台は来年度に入れ替えを検討(25万円)
- ② 入浴用リフトの部品交換を実施した
- ③ 送迎車1台（普通車プレマシー）年数経過し点検・部品交換費用がかさむようになった為、新規車両の助成制度を利用。来年度、日本財団や24時間テレビへ申請を行う。

栄区地域子育て支援拠点にこりんく

- (1) 事業内容 事業名称 栄区地域子育て支援拠点にこりんく
 対 象 0 歳～未就学児とそこご家族の方 妊娠中の方
 子育て支援や活動に興味のある方
- (2) 所在地 横浜市栄区桂町 711 番地
 「さかえ次世代交流ステーション」1 階
 (TEL/FAX) 045-898-1615

(3) 職員 15 名

職名	保育士	その他
常勤	5	0
非常勤	8	2

(4) 年間利用者数

活動日数	246 日（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）
利用者数	20,507 人
平均利用者数	83・4 人/日

実績表※月別の詳細は以下表を参照(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均利用者数	率 (%)
開所日数	20日	20日	22日	21日	19日	21日	23日	20日	19日	20日	20日	21日	246日		
0歳児	239	254	300	281	201	306	408	385	273	217	304	329	3497	14.2	33.6
1歳児	293	318	313	343	254	342	329	344	256	226	276	312	3606	14.7	34.6
2歳児	138	99	125	178	168	178	170	181	147	147	157	154	1842	7.5	17.7
3歳児	68	57	49	63	88	64	51	61	49	52	56	72	730	3	7
4歳児	30	20	32	50	56	40	24	28	46	30	31	48	435	1.8	4.2
5歳児	14	9	15	23	20	21	13	16	19	22	22	27	221	0.9	2.1
6歳児	1	1	5	6	8	7	5	6	9	9	11	19	87	0.4	0.8
就学児	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
子ども 小計	783	758	839	945	795	958	1000	1021	799	703	857	961	10419	42.4	100
父	50	51	55	51	59	101	46	65	40	60	65	59	702	2.9	7
母	666	661	729	821	649	823	891	901	696	578	721	812	8948	36.4	88.7
祖父	7	3	1	0	11	2	1	2	4	3	3	0	37	0.2	0.4
祖母	10	13	12	13	21	9	14	9	9	8	12	18	148	0.6	1.5
本人以外の子供	0	0	0	1	1	4	0	0	0	14	0	17	37	0.2	0.4
プレパパ	0	1	1	2	5	0	7	0	0	0	1	0	17	0.1	0.2
プレママ	1	1	2	6	6	0	9	3	0	2	2	0	32	0.1	0.3
その他	2	1	1	0	5	8	0	3	102	20	6	19	167	0.7	1.7
親等 小計	736	731	801	894	757	947	968	983	851	685	810	925	10088	41	100
合計	1519	1489	1640	1839	1552	1905	1968	2004	1650	1388	1667	1886	20507	83.4	100

(5) 運営方針

地域子育て支援拠点事業の理念

- 事業目的 1 安心して子どもを生き育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成する。
 事業目的 2 子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与する。

【親子の居場所】※事業報告

▼利用する人を温かく迎え入れ、安心してくつろいで過ごせる場を提供する。

▼多様な世代、性別などの養育者と子どもが訪れる場となるよう、様々な取り組みを行う。

▼養育者と子どものニーズを把握する。

▼親(養育者)自身が親として育ち、また子どもが育つ場となるよう支援する。

○子どもの成長に合わせた発達プログラムの実施

①ベビーマッサージ 21 回 225 組 447 名 ②赤ちゃんとあそぼう 11 回 139 組 279 名

③リトミック 22 回 264 組 534 名 ④五感で遊ぼう 2 回(夏休み・冬休み)8/1 3/20 合計 22 組 47 名

○異年齢交流プログラムの実施

①お誕生会 12 回 213 組 449 名②みんなで遊ぼう(子育て支援者)5 回 110 組 224 名

○リフレッシュプログラムの実施

①親子ヨガ 11 回 115 組 230 名②おやこ陶芸 18 回 130 組 269 名③みんなでストレッチ 10 回 152 組個別相談 35 名

④抱っこママコーラス 10 回 62 組 123 名

○利用者間の交流を促すための企画を継続的に実施

A 年齢別交流プログラム

①0ちゃんベビー集まれ 11 回 331 組 671 名②1 オチビちゃん集合 10 回 217 組 438 名③集まれにこりんキッズ 10 回 63 組 135 名

B 交流プログラム

①妊娠期の支援「マタニティさんあつまれ！～お花で遊ぼう～」年間 3 回プレママ 7 名プレパパ 2 名

②あつまれふたご・みつごちゃん 6 回 22 組 80 名

③10 代・20 代のママの会 6 回 22 組 80 名④ひまわりの会 3 回 6 組 12 名⑤幼稚園に在籍している先輩の母親と未就園の母親の交流会「幼稚園ママと話そう」年間 2 回 82 名

C 季節のプログラム

①にこりんく七夕会 7/6 37 組 74 名②7・8 月水あそび 5 回 62 組 128 名③にこりんく虹のふれあいコンサート

※栄公会堂 12/1 472 名④みんなで豆まき 2/2 40 組 111 名 パパボランティア 8 名⑤にこりんくひなまつり 3/1 42 組 91 名

⑥新 1 年生を祝う会 3/20～31 11 名

○利用者のニーズに合わせた講習会

A 区との連携

①0ちゃんベビー集まれ、「歯のお話」7/3 27 組 54 名 講師：歯科衛生士(区)「栄養と離乳食の話」2/6 25 組 51 名

講師：管理栄養士(区) ②1 オチビちゃん集合 7/13 「栄養と離乳食の話」22 組 46 名 講師：管理栄養士(区)「歯の話」11/8

29 組 58 名 講師：歯科衛生士(区) ③集まれ!!にこりんキッズ「栄養の話」7/27 8 組 16 名「イヤイヤ期の話」9/21 14 組

28 名 講師：保育士(保育園)

○災害時の避難場所の対応等、発災時に向けた体制の整備を行う

①災害時の対応については、拠点防災マニュアルを 4 月に区こども家庭支援課との定例会にて確認した。

（地震・火災・不審者・ミサイル）震災発生時の帰宅困難者一時受け入れは栄公会堂であることを確認。

水害マニュアルを運営法人で作成。（いたち川増水時の対応について）

A ステーション全体防災訓練 地震からの火災訓練（7/13 8組 17名 職員 8名）水害訓練（10/22名 職員 21名）

※栄消防署立会い それぞれの事業所同士が連携し発災時の対応を具体的にシュミレーションすることができた。

B ステーション全体不審者対応訓練（1/21 職員 21名）民間の業者と一緒に訓練を実施。

改善点を即日検討し、毎月繰り返し利用者参加型の訓練を行なった。利用者参加型での訓練は我が子を守る意識を高めるきっかけとなった。

aにこりんく内地震避難訓練 4/17 7組 17名 5/18 9組 18名 6/30 12組 28名 7/13 8組 17名

8/23 6組 12名 9/28 9組 19名 11/30 11組 25名 12/18 10組 21名 2/22 8組 17名 3/12 9組 19名

②毎日、お昼と帰りの集いで地震から我が子を守るためのポーズ「ダンゴムシポーズ」を実施。

避難訓練の実施時にも実際に取り入れ、いざという時、我が子の身を守ることの大切さを伝えた。

○ファミリープログラム

①「パパママ一緒にふれあい遊び」4回 87組 207名②「パパママ一緒に運動あそび」3回 23組 57名

②パパたち集まれ 第1回「スタンプラリー」5/19 7組 21名 父6名 第2回「ダンボールハウス製作」6/16 11組

30名 第3回「パパ講座～読絵ん会」絵本作家 保科 琢音氏 9/29 14組 40名 父14名 第4回「プラレールで遊ぼう」

11/17 8組 24名 父8名 第4回「記念手形&親子遊び」3/16 10組 30名 父10名 父親参加型プログラムを充実

させたことがきっかけになり、土曜日の父親利用が増えた。

③抱っこパパ隊 年間 15回 90組 <ステージ発表>ステーション祭り舞台 9/1 7組 にこりんく虹のふれあいコンサート

12/1 9組 豆まき 2/2 4組 様々なシーンで父親の歌を発表する機会を設けたことで、父親の来館増加にも繋がり、父親同士が交流するきっかけとなった。

○多様な養育者が拠点に興味を持ち、出向くきっかけとなるよう地域のボランティアや学生等を受け入れる

工夫を行った。

①地域ボランティア活動 a にんじんクラブ 11回ボランティア 23名(読み聞かせ) b おもちゃ病院 21回 108件 ※ステーション祭り「手作りおもちゃブース」地域ボランティアと親子が絵本の読み聞かせや、おもちゃの修理・ステーション祭りでの「手作りおもちゃブース」を通して交流することができた。c 子ども支援農園 交通安全&すいか割り※台風の為中止。d さかえダンディーズ「孫育て講座」歌の発表 9/14 7名懐かしの唱歌を一緒に歌ったり、自己紹介ゲームなどをして交流を深めることができた。

地域のボランティア講師の支えによって養育者のリフレッシュや、子どもの発達に合わせたプログラムなどを

実施することができた。（・ベビーマッサージ 21回 225組・親子ヨガ 15回 230組・みんなでストレッチ 10回 324名・おやこ陶芸 17回 130組・五感で遊ぼう年間 2回 22組・みんなであそぼう<子育て支援者>5回 110組）

- ②利用者ボランティア活動・絵本の読み聞かせ（パパ）3回（ママ）1回・パパによるリトミック7回・音楽ボランティア（練習）47名・お誕生日会（歌のプレゼント）2回17名・抱っこパパコーラスピアノ5名・抱っこママコーラス（ピアノボランティア）12名・製作ボランティア7名・パパたちによるお楽しみ会 5/12 7名 7/26 5名・七夕会、ミニミニコンサート（楽器）6/21 3名 2/7 4名・バルーンアート（祖父）5/17 9/1 12/4 ままうたい隊発表く七夕 7/6 10名 ステーション祭り 9/1 17名 孫育て講座 9/29 17名 虹のふれあいコンサート 12/1 36名 こんにちは赤ちゃん訪問員定例での発表 12/20 61名 ひなまつり 3/2 16名>利用者自身もボランティアとして子どもを連れながら活動することができた。
- ③学生ボランティア受け入れ 区社協サマーボランティア受け入れなど 7/24・25 中学生2名 豊田地区夏ボランティア体験受け入れ 7/26 中学生3名 青少年地域活動拠点フレンズ☆SAKAE からおもちゃの提供・ダンボール迷路作り 8/30 2名 7/28 中学生2名・小学生1名神奈川県立横浜栄高等学校 夏期体験学習事前打ち合わせ 5/30 2名 夏季体験学習参加オリエンテーション 7/10 15名 教諭1名（体験学習 7/27～8/17迄）鎌倉女子大学「絵本カフェ」10/26 6名 瀬谷区地域子育て支援拠点にててらす職員研修 9/29 1名 本郷中学校職場体験 1/19 4名 本郷台小学校4年生「演奏」2/22 27名 普段関わることのない、地域の小・中学生、高校生、大学生などと交流する良い機会となった。わが子の成長を重ね合わせている親もいた。小学生は、乳幼児と関わることで、相手が喜び楽しめる工夫を考えるよい経験になった。
- ④にこりんくオープンデー3回 24組 53名。障害児者親の会、なのはな会と連携しオープンデーの受け入れをおこなった。

【子育て相談】

※スタッフによる子育て相談（フロアにて） 1209件

- ▼養育者の悩みをスタッフの間でも安心して相談できる信頼関係の中で利用者から具体的な相談場を提供するに努め対応を行った。その後の経
- ▼発達、過適切な養育な利用専門的対応を要する相談を支援（見守り関係機関と結びたい養育者に必要に応じて相談継続した環境となりを育てた。
- ▼プライ発達など配槽談に相談がやむ環境を整えた。
 - ②帰宅時には一人ずつ丁寧にスタッフが付き添い見送る時間を大切にした。その結果、帰宅時に深い相談が養育者から上がることも多く再来館に繋がり、継続的な見守りや支援を行うことができた。
- B 相談内容に応じては、相談者に個室利用の意向を聞き安心して相談できるよう環境を準備した。個室の環境は利用者も話やすく、思いをゆっくりと傾聴することができた。
- C 養育者のニーズに沿った内容の専門職による相談
 - ①助産師育児相談（個別相談）年間 19回 132件 母親自身の身体のこと、授乳について等個別の相談に専門職が丁寧に対応することで母親の不安が解消された。
 - ②助産師グループ相談年間 15回 81名 内容：卒乳について・乳幼児の冬の過ごし方・スキンケアについて・産後のママの身の変化についてなど、助産師のお話の後、質疑応答タイムをとることで、悩みや質問を解消することができた。他者の悩みも聞くことで、不安を軽減することができた。

- ③保育・教育コンシェルジュ年間 12 回 42 件 養育者が、それぞれの事情に合わせて区内の預け先や、就労に向けての準備や手続きなど、具体的にイメージすることができた。
- ④理学療法士年間 11 回個別 35 件 養育者自身の健康にも目を向ける機会を大切にしました。
自宅でも繰り返しできる腰痛や肩こりの予防ストレッチをフロアで気軽に学ぶことができた。痛みなど、症状がある方については個別に相談を受け、具体的な対処法を伝えることができた。

【情報収集提供】

- ▼地域の子育て情報を収集し、発信・提供した。
- ▼利用者自身がサークル等の子育て情報を発信できる場を提供した。
- ▼情報収集、提供の仕組みづくりに利用者が積極的に参加できるよう工夫を行った。
 - A 毎月こりんく通信を発行（1,500 部/月）し、区内の各施設や関係団体に配布し（横浜栄共済病院も含む）、サロンや地区センター図書館など、訪問時には持ち込み、直接情報を伝えた。拠点以外で通信を見た新規の来館に繋がった。
 - B ホームページ見て「プログラムに参加してみたい。来館に興味を持った。」という声も多く聞かれるようになり、随時更新する事で、来館しづらい方でも情報を入手できるよう工夫を行った。
 - C 子育て支援団体連絡会に事務局として参画し、栄区の子育て支援に関わる情報や各団体の取り組みなどについて収集し拠点情報ファイルや掲示板にて発信した。
 - D 子育てサポートシステム出張説明会にて拠点周知を行った。拠点から離れた身近な地域で開催することで、気軽に参加でき、登録や依頼に繋がった。
 - E ホームページをスマートホン対応に改修中。令和元年 6 月完成予定。
 - F 同年齢の交流プログラム（1 オチビちゃん集合など）で、母親自身がサークル活動の情報提供を行い、参加を呼びかけ、情報提供の仕組みがあることを周知した。
 - G 地域で活動を行っている利用者や担い手(関係機関・団体・サロン・など) のポスターを掲示できる場を提供した。また、お昼と帰り集いのインフォメーション時に利用者に直接情報提供を行った。
内容： 音楽活動・パパ音楽ボランティアなど
 - H 区内サークルメンバー募集活動紹介ポスターなど、養育者からも多くの情報が提供された。
養育者が主体となり企画したプログラムの情報提供を行った。
 - I 同年齢の交流プログラム（1 オチビちゃん集合など）で、母親自身がサークル活動の情報提供を行い、参加を呼びかけ、情報提供の仕組みがあることを周知した。
 - J 地域で活動を行っている利用者や担い手(関係機関・団体・サロン・など) のポスターを掲示できる場を提供した。また、お昼と帰りの集いのインフォメーション時に利用者に直接情報提供を行った。
内容： 音楽活動・パパ音楽ボランティア等「にこりんくお楽しみ会」 5/6, 8/24 「みんなでヨガ」 6/1 ママ音楽ボランティア「ミニコンサート」 5/30, 2/13 1 さいちビちゃん集合「ブンバポーンを踊ろう」 12/8
 - K 区内サークルメンバー募集活動紹介ポスターなど、養育者からも多くの情報が提供された。
養育者が主体となり企画したプログラムの情報提供を行った。

【人材育成】

▼地域の子育て支援活動を活性化するため、新たな子育て支援人材の育成に努めた。

▼地域で子育て支援に関わっている方へ、スキル向上に向けた研修会や勉強会を実施した。

A 区と協働で地域に向けて、子育て支援の必要性を周知・啓発していく機会を設けた。

a さかえっ子の笑顔ひろげ隊では、子育て世帯を温かく見守る地域づくりを目指し活動を行った。

<主催：こども家庭支援課 事務局：こども家庭支援課・区社協・主任児童委員・拠点>

子育て関係者や親子・地域の方が集まる場所で「見守りの大切さ」「養育者と地域の繋がり大切さ」「相談先の周知」について啓発することができた。また、赤ちゃんのふれあい体験や、命の授業では事業を通じて次世代（小・中学生）が命の大切さにふれ乳幼児の親子と接する体験ができた。b 孫育て講座 6/29 9/29 48名チラシ 48部 c 赤ちゃんのふれあい体験
会場：豊田地域会場 8/4 チラシ 10部 区役所会場 チラシ 10部 小菅ヶ谷地域ザ 8/17 チラシ 14部 笠間地域ケアプラザ
8/22 チラシ 17部 d 第1回子育て支援団体連絡会 チラシ 26部 e にこりんく虹のふれあいコンサートチラシ 300部 f 命の授業

西本郷中学校、桂台中学校 3年生 協力 g 第1回栄区セーフコミュニティ推進協議会こども安全対策分科会に参加 7/25 拠点内での防災の取組を紹介・利用者への周知状況を発表（事故予防）啓発グッズ 100部配架 h 区内6か所の地域ケアプラザと連携し、地域の親子が参加したい講座を地域ケアプラザで開催。地域の多くの親子が参加し、拠点を周知する良い機会となった。

1-豊田地域ケアプラザ 2回開催「食べるの大好き！食育講座」①の～びのび 1/17 3組 6名①ぼっかぼか 3/12 12組 25名

2-笠間地域ケアプラザ「歯のお話」1/29 10組 20名

3-桂台地域ケアプラザ「歯磨きのコツ」1/3 13組 6名

4-中野地域ケアプラザ「親子ですぐに役立つ防災講座の知恵」1/26 4組 10名

5-小菅ヶ谷地域ケアプラザ ①「押田先生と遊ぼう」12/4 9組 18名

6-野七里地域ケアプラザ「げんきっこひろば de ふれあいいそび」11/17 22組 49名

B 豊田こどもネットワーク委員会に参加し、学齢期の子どもの居場所づくりをともに検討した（年間 12回）

虐待防止連絡会 6/22「こども家庭支援課における養育支援・児童虐待の対応の現状について」個別の事例を通して意見交換し、機関連携を考えるよい機会となった。1名

C 学生ボランティア受け入れ

区社協サマーボランティア受け入れ 7/24・25 中学生 2名 豊田地区夏ボランティア体験受け入れ 7/26 中学生 3名 青少年地域活動拠点フレンズ☆SAKAEからおもちの提供・ダンボール迷路作り 8/30 2名 7/28 中学生 2名・小学生 1名神奈川県立横浜栄高等学校 夏期体験学習事前打ち合わせ 5/30 2名 夏季体験学習参加オリエンテーション 7/10 15名 教諭 1名（体験学習 7/27～8/17迄）鎌倉女子大学「絵本カフェ」10/26 6名 瀬谷区地域子育て支援拠点にてこてらす職員研修 9/29 1名 本郷中学校職場体験 1/19 4名 本郷台小学校 4年生「演奏」2/22 27名 普段関わることのない、地域の小・中学生、高校生、大学生などと交流する良い機会となった。わが子の成長を重ね合わせている親もいた。小学生は、乳幼児と関わることで、相手が喜び楽しめる工夫を考えるよい経験になった。

D プレママ・プレパパ向けの講座を実施し、乳幼児親子と交流し、出産後の生活をイメージできるように働きかけた。参加人数が少なく次年度も重点的に妊娠期の方が繋がるための工夫や検討が必要とされ、令和元年度は区の両親教室に参加し、拠点周知や見学会を行う。

E 青少年の地域活動拠点フレンズ☆SAKAEとの連携

フロアでの七夕製作 2 名・さかえ次世代交流ステーションまつりボランティア受入れ 小学生 5 名・中学生 4 名・高校生 6 名
チームフレンズのダンス発表 1 2 名

区民祭りボランティア受入れ 中学生 3 名高校生 2 名・コンサート 高校生 3 名 にこりんく虹のふれあいコンサート チームフレンズのダンス発表 14 名

※フレンズさかえとの連携、栄区内中学校に拠点内ボランティア受け入れのちらしを配架赤ちゃんとふれあい体験の場を提案参加なし。

次年度はイベントだけではなく、子どもたちが、乳幼児に対して「何かできた。喜んでもらえた」と思える日常の中でふれあう機会ができる工夫をフレンズさかえと共に検討していく。

【ネットワーク】

▼地域の子育て支援活動を活性化するためのネットワークの構築や推進に努めた。

▼ネットワークを活かして、拠点利用者を地域へ繋ぐ役割を行った。

▼当事者間のネットワークを構築し、当事者による子育て支援活動の推進に努めた。

A ①子育て家庭のニーズを把握するため、拠点来館者対象に栄区地域子育て支援拠点アンケートを 100 部実施し区内の乳幼児の子育て世代のニーズや現状を把握した。次年度は子育て世代の親の意見を直接聞く出し合う機会を設け、平成 31 年度本音トークを開催し当事者の声を集め次年度以降の活動に繋げていく。7/3 意見交換会を開催 会場:栄区地域子育て支援拠点にこりんく（共催：区・拠点）

B ①1 子育て支援団体連絡会【交流会の実施&意見交換】を行い、地域で子育て支援に関わる方々同士の情報交換や支援現場の利用者の傾向や課題について意見交換を行った。支援者の後任の不足、イベントの協力依頼、地域の資源の紹介を有効にできるための工夫が必要と感じられた。地区ごとに困った時には力を貸せるよう、子育てつながるマップを有効に活用でき、また利用者が直接見て情報が得られるよう平成 31 年度は改定を行う。

- ・第 1 回子育て支援団体連絡会「情報交換&交流」4/12 26 団体参加
- ・第 2 回子育て支援団体連絡会「相談援助における傾聴について」13 団体参加
- ・第 3 回子育て支援団体連絡会「子育てつながるマップの活用」11/29 23 団体 24 名
- ・第 4 回子育て支援団体連絡会「情報交換&交流」3/29 16 団体

②参加団体より、分科会方式での専門研修は好評であった。小規模の団体では研修に参加する機会が少ないため、次年度も分科会ごとの研修を実施してほしいと要望があがる。引き続き、ニーズに合わせた研修を実施していく。

- ・分科会 1「発達に気になる子への関わりと保護者の支援について」 5/28 29 団体 53 名 地域・当事者 11 名 合計：74 名 講師：なのはな会代表 河西 幸子氏
- ・分科会 2「個性にあった進路の選び方」12/8 27 名 講師：講師：児玉 正徳氏
- ・分科会 3「わらべうた遊び」2/25 17 団体 40 名 講師：かながわこども広場 藤平 氏

<拠点と地域の繋ぎ>

A 地域の子育て支援関係者が子育て家庭の状況及び、子育て支援の情報や課題を共有するための場や、機会を各関係機関と共に提供した。

①子育て支援団体連絡会年間 6 回（うち分科会 3 回含む）※ネットワークア・B 参照

②栄区セーフコミュニティ児童虐待防止分科会 さかえっ子の笑顔ひろげ隊(a-育児教室での赤ちゃんふれあい体験 8/10 8/22 b-さかえ次世代交流ステーションまつりにて啓発活動 325部 c-孫育て講座にて啓発活動 6/22 9/14 50部 d-区民祭りにて啓発活動 500部 d-にこりんく虹のふれあいコンサート啓発活動 400部 e-いのちの授業 2/26 本郷中学校 参加親子 28組 3/7 桂台中学校 参加親子 26組③栄区セーフコミュニティこども安全対策分科会 2/21 平成 30 年度セーブキッズフォーラム参加 12/18 ④虐待防止連絡会 2/14 1名 ⑤栄区地域福祉保健計画策定・推進会議 5/29 3/13 ⑥子育て支援者との連携 (定例会への参加→横浜子育てパートナー)

- B 地域の子育て支援関係者・団体との繋がりができてきたことで、拠点に地域の子育て支援の情報が集まるようになり、サロン・幼稚園・保育園等からのチラシを活用し養育者を身近な地域のサロンや子育て支援の場に繋げることができた。
- ・区内の公立保育園が周知の為にチラシを持って来館し、親子により身近に感じてもらえるようにと拠点で手遊びやパネルシアターをし周知活動を継続的に行った。利用者が、保育園に遊びに行くきっかけとなった。
 - ・ハマハグの加盟店の募集活動を次年度に引き続き行い、地域での子育て家庭への支援のネットワークが広がるよう努めた (協賛店舗加入 10 件)
 - ・保育園園長会議・幼稚園園長会議にて拠点への未就園児プログラム、園情報の情報提供のお願いを行った。近隣園から未就園児情報が届き始めた。

＜地域のネットワーク＞

- ①豊田子どもネットワーク委員会 12 回参加 世代間交流「豆まき」協力 2/3 豊田地域ケアプラザ
- ②本郷中央地区「子育てアンケート協力」30 部、協働福祉フォーラム参加 2/24 主催：本郷中央地区支えあい連絡会
- ③地域連携勉強会 生活困窮者自立支援(アウトリーチパートナーについて) 講師：湘南精神保健福祉事務所 長見 英知氏 主催：小菅ヶ谷地域ケアプラザ
- ・ステーションの 2 階の多目的フロアを青少年の活動拠点「フレンズ☆SAKAE」、放課後デイサービス「ぴっころんど」と共有し、利用することで、養育者がそれぞれに来館する子ども達の活動を知るきっかけとなった。施設をまたいで利用している中学生もいた。(「青少年の地域活動拠点 フレンズ☆SAKAE」「放課後デイサービス「ぴっころんど」を利用。にこりんくには学生ボランティアで交流等

【横浜子育てサポートシステム】

▼安心して子育てができるよう、地域ぐるみでの子育て支援や、仕事と育児を両立できる環境を作ることを目的とした会員制の有償の支え合い活動のサポートを行った。

- A ①区民が多く目にする広報さかえ区版で、入会説明会の周知を行った。(年間 1 回)
- ②入会説明会チラシ、提供会員募集チラシを、拠点ホームページへ掲載、町内回覧板配架等、地域や関係機関・団体に実施した。③手に取りやすい名刺型チラシを作成し、地域のイベントで配布。(ステーション祭り 325 部、区民祭り 50 部にこりんく虹のふれあいコンサート 450 部) 地域に向けて子育てサポートシステムの周知を行ったことで、入会説明会の問合せや参加者が増えた。④幼稚園や小学校へ子育てサポートシステムの周知チラシ配架を行ったことで、保護者を通して周知され会員増加へと繋がった。(栄区幼稚園 10 園 1,592 部、栄区小学校 12 校 5,363 部)
- B ①拠点新規登録時やお昼と夕方のつどいの時間に子育てサポートシステムを周知した。
- ②拠点内情報コーナーにて子育てサポートシステムに特化した掲示板を掲示し、随時周知できるよう工夫した。

③孫育て講座やボランティアで拠点に来館した地域の方々に、チラシを使って丁寧に子育てサポートシステムの周知を行った。

C 拠点から離れた地域に出向き、子育てサポートシステムを周知を行った。

【周知先会場】

- ・育児教室全 6 会場（各会場 1 回ずつ）・支援者会場豊田地区センター（10 月）、支援者会场上郷地区センター（10 月）、げんきっこひろば（11 月）

D ①子育てサポートシステムの仕組みや、提供会員になるまでの工程をわかりやすく掲載した提供会員募集チラシを作成。地域や各関係機関・団体に配下を依頼。栄区全域にも回覧板（前期後期 1 回ずつ）で 2 回周知し、提供会員数が増加した。

（回覧板からの予定者研修参加あり）（名刺型チラシをステーションまつり 325 部配布、区民祭り 500 部配布、にこりんく虹のふれあいコンサート 300 部配布）②月ごとに開催曜日を変え（拠点開館曜日すべてで実施）入会説明会を行い、働いている方にも参加しやすいよう工夫を行った。（年間 23 回 利用会員 51 名 提供会員 9 名 両方会員 3 名）③幼稚園・小学校へのチラシ配架を行ったことで保護者を通して周知され、会員増加へ繋がった。 栄区幼稚園 10 園 1,592 部、栄区小学校 12 校 5,363 部④提供会員数の少ない地域や、拠点来館が困難な地域で入会説明会を実施し、子育てサポートシステムの周知を行うと共に新たな会員登録獲得に繋がるよう努めた。

平成 30 年度 新規登録者利用会員 76 名 提供会員 5 名 両方会員 2 名 合計 83 名

【出張入会説明会】

- ・桂台地域ケアプラザ 7/24 1 名・豊田地域ケアプラザ 10/23 3 名・小菅ヶ谷地域ケアプラザ 10/30 4 名
- ・野七里地域ケアプラザ 11/2 0 名 ・笠間地域ケアプラザ 1/23 5 名 ・中野地域ケアプラザ 2/22 名

E ①拠点新規登録時やお昼と夕方のつどいの時間に子育てサポートシステムを周知。興味を持った利用者には丁寧に説明を行った。②拠点内情報コーナーにて子育てサポートシステムに特化した掲示板を掲示し、随時周知できるよう工夫した。③孫育て講座やボランティアで拠点に来館した地域の方々に、チラシを使って丁寧に子育てサポートシステムの周知を行った。これらにより、入会説明会参加や会員と登録に繋がった。

F 拠点業務にて、ひろばで養育者から、子どもの預け先や育児疲れ、または保育園送迎の不安等の相談があった場合、必要に応じて子育てサポートシステムを紹介。養育者の希望を丁寧に聞き取り具体的なサポートを提案することで、イメージを持つことができ会員登録に繋がり、母親の体調不良による相談から、利用に繋がったケースもある。

G 近日のサポート希望や、入会説明会の日程が合わない養育者には個別に希望日に合わせ入会説明を行い、即日の会員登録や、速やかなサポート活動に繋げることができた。

【個別説明】

- ・おやこの駅ひろば（9/12 1 名）・入会希望者自宅にて（10/25 1 名）

【拠点内】

- ・要望があれば随時（11 回 13 名）

【会員交流会】（年間 3 回）を行い、会員とコーディネーターが直接話す機会を持つことにより、活動中の不安や疑問（活動中の具体的な対応等）、今後参加してみたい交流会のニーズを把握。 コーディネーターとの信頼関係を深めその後のコーディネートに活かすことができた。

- ・ストレッチヨガ&お茶会 6/6 7 名・ハーバリウム製作&お茶会 11/7 9 名・陶芸&お茶会 3/22 6 名

- H 交流会時に利用・提供会員から上がった、子どもの安全について等のニーズに合わせ、サポート中や子育て中でも役立つ研修を拠点と連携して行い、提供会員が安心してサポート活動でき、利用会員は安心してシステムを利用できるように努めた。③提供会員の幼児救急救命法受講が必須になったことを踏まえ、講座回数を増やし対応。活動中の提供会員は受講した。（残り 1 名来年度受講予定）
- 【乳幼児救急救命法 5/25 9/15 10/10 21 組】【乳幼児応急処置法 2/23 3 組 6 名】
- 【いざという時の防災講座 3/2 2 組 4 名】
- ・会員からサポート活動中の相談を受けた場合は、会員同士がより良い関係がきづけるよう働きかけ、求められているサポートに寄り添えるよう丁寧に対応した。 必要に応じて会員同士の仲介や、新たなコーディネートを行ったことで、途切れることなくサポートを継続することができた。
- I ①提供会員で活動機会の少ない会員や、新規登録者には、入会説明会などの拠点ひろばでの保育を依頼。保育中の不安がある場合は拠点スタッフと連携し保育中のフォローを丁寧に行った。保育終了後今後も自信をもってサポート活動ができるよう、お茶を飲みながら話を聞き、振り返りを行った。提供会員からでた、振り返りの意見を（困ったこと・良かったこと等）共有する
- ことで「フロアの保育ならでは」を考える良い機会となった。フロアでの保育は様々な親子の様子も見れ、提供会員にとっても勉強になり安心して活動できると感想が上がる。
- ②普段サポート活動のない提供会員ともコーディネーターがコミュニケーションを取れる機会となった。
- J 業務内容を日誌に記録し、コーディネーター全員が業務の進行具合を把握できるようにした。朝のミーティング時にコーディネートや業務の進め方、進み具合などを確認し合う。必要に応じてコーディネーターミーティング（年間 2 回）を行い、業務内容にずれがないか確認し、より良いサポート活動に繋げた。
- K ①会員間の個人情報の取り扱いについて、入会説明会や事前打ち合わせの時に両会員に対して、丁寧に説明。事前打ち合わせ時には、事前打ち合わせ票はファイリングして保管。サポート終了後にはシュレッターにかけるか利用会員に返すなど、具体的な対処法を伝え注意喚起を行った。
- 子サポ通信春号にて、個人情報の取り扱いについての注意点を分かりやすく事例も一緒に掲載（写真や個人情報等）。全会員に配布し拠点を利用しない会員にも伝えた。（会員数）
- ②交流会で会員が拠点に出向く機会をとらえ、個人情報取り扱いについての注意喚起を行い個人情報を紛失した場合も事故になることを伝えた。
- L 子育てサポートシステムでは対応できない病児保育や家事支援等の相談があった場合は、横浜子育てパートナーと連携を取り相談に合った情報提供を行い、区内で活用できる支援情報等を提供することができた。

【利用者支援事業】

- ▼子育て期のいろいろな悩みごと、困りごとなどについて、専任スタッフが相談者の気持ちに寄り添いながら必要な情報を調べ、適切な支援機関の紹介を行った。（個室相談・ひろばでの相談・専用ダイヤル相談）
- A 拠点通信に毎月利用者支援事業の内容や相談の電話番号等を掲載し、相談先としての周知を行った。区社協や区民活動センター、地区センター、地域ケアプラザ、図書館等区民が幅広く利用する施設で配布することで、子育て世代以外の方にも知ってもらえる工夫を行った。
- B 子育て支援者会場、親と子のつどいの広場、子育てサロン、育児教室、両親教室などに出向き周知活動を行い、養育者への事業周知と共に地域の関係機関への周知を行った。周知活動を行っているが、電話相談の増加等には結びついていない。
- C 利用者支援事業と子育てサポートシステムが裏表となった携帯サイズのチラシを拠点内のトイレや授乳コーナーに設置し取りやすくなるよう工夫した。携帯サイズのチラシを赤ちゃん訪問員の家庭訪問時やさかえっ子の笑顔ひろげ隊の虐待防止の啓発活動の際にも配布し、気軽に相談に繋がるように取り組んだ。区社協や区民活動センター、地区センター、地域ケアプラザ、図書館等に携帯サイズのチラシを専用ホルダーに入れて設置の依頼を行い、チラシが手に取りやすい工夫を行った。
（さかえ次世代交流ステーションまつり 325 部配布・区民祭り 500 部配布・にこりんくん時のふれあいコンサート 500 部配布）
- D 地域の施設や団体を訪問し、地域情報の収集や現状の把握を行い利用者への情報提供に活用することができた。各施設や団体を訪問することで、利用者のみならず地域の情報を訪問した団体側にも提供することができ、地域の情報や現状を共有することができた。上郷こどもカフェ 4/18、男女共同参画センター6/15 発達障害児親の会 6/29、わかば保育園 9/5 すきっぷ（一時預かり・ヘルパー派遣事業）10/9 飯島コミュニティハウス 10/18 親子カフェコトロン 11/14 ダウン症児サークルダイヤモンドキッズ 12/20。
- E 研修に積極的に参加し、相談対応における情報の収集やスキルの向上に努めた。研修に参加することで、利用者支援事業の相談対応に活かすと共にひろばスタッフにも可能な範囲で伝達研修やミーティング等を通して研修内容を伝え、情報の共有に努めた。おしゃべりタイム（子育て支援者勉強会）4/23 10/29 里親フォローアップ研修 5/19 発達が気になる子への関わりと保護者支援 5/2、精神保健福祉基礎研修 5/30 6/12 横浜子育てパートナーフォローアップ研修（関わりに難しさを感じる方への支援）6/25、アンガーマネジメント研修 7/10、福祉分野にもプロジェクトマネージメントを 8/6 発達障害いいとこ探し 8/27 横浜市版子育て世代包括支援センターあり方検討会の中間報告・意見交換会 11/21 グループトーク「みんなで話そう横浜の子育て」11/29 個性にあった進路の選び方 12/15 小菅ヶ谷地区アウトリーチパートナー研修 1/15 パーソナリティー障害事例研修 2/7 民事協研修 2/12 認知症キャラバンメイト連絡会 2/15 養育者への支援研修 2/27。
- F 相談に丁寧に対応し、傾聴した後に相談者の課題を復唱することで、相談者の課題の整理と正確な把握に努め、必要な情報の提供や支援へのつなぎに活かすことができた。
- G 相談を通して相談者のニーズを把握した上で、拠点の機能を有効に活用し、遊びのひろばでの見守り支援への仲介、養育者の仲間づくりの場の紹介、助産師や保育・教育コンシェルジュ等の専門相談、拠点の情報やネットワークをもとにした地域の子育て支援団体や子育てサポートシステムの利用等、適切な支援を紹介・仲介することでスムーズな利用に繋がった。
専門的な対応を要する相談については、相談者の気持ちに寄り添いながら、区の相談に繋がるようにサポートした。区には毎月のケースカンファレンスや電話・口頭で連絡を行い、相談に応じて適切で速やかな対応に努めた。
- H 拠点内や関係機関へ紹介・仲介後も拠点内や区役所、子育て支援者、親と子のつどいの広場等と連携し継続的に対応したことで、相談者の状況の変化に応じて、拠点内や関係機関へ必要な支援の変更や調整を仲介することができた。
- I 拠点内で相談対応について毎日のミーティングで振り返り、支援方法についての検討を行った。迅速な対応が必要と思われる

ケースでは、随時施設長と支援方法の検討を行い対応した。拠点全体での見守り支援が必要なケースでは、毎月のミーティングで支援方法の確認を共有を行い、多角的な視点で支援の確認を行うことができた。

J 区とケースカンファレンスを毎月 1 回行い、支援内容の確認を行うことができた。迅速な対応が必要なケースでは、電話や口頭での連絡や臨時的なケースカンファレンスを行い、支援方法の検討や共有ができた。要保護児童対策協議会の個別ケースカンファレンスに参加し、親子に対する支援方針を区や関係機関とともに確認することができた。

K 利用者支援事業の周知活動や出張相談として地域の様々な子育て支援に関わる施設や団体を訪問し、地域毎の現状や課題を共有し、連携・相談し合える関係性を作ることができた。出張相談等で地域の利用者に関わる中で、地域の関係機関を相互に紹介し、地域の中で人の流れや情報の共有を図ることができた。その個々との関係性を必要に応じて今後は、地域毎に繋げていくことが課題である。育て支援団体連絡会 4/12、子育てサロン（ぱんぱんぱんだ 4/17、さくらんぼ 11/16）子育て支援者会場（年間 12 回）、子育て支援者定例会（年間 6 回）、親と子のつどいの広場（おやこのひろば年間 12 回）（おやこの駅ひろば年間 12 回）、育児教室（年間 6 回）、ダウン症児サークル遊び紹介（12/20）、コミュニティハウス訪問（10/18）、両親教室（10/27）

L 相談の中で把握した課題や地域の社会資源との関係性を深めるなかで、社会資源があるのに養育者がうまく利用できていない場合があり、拠点での講座開催などを通して、養育者と社会資源とのマッチングの取り組みを行ったことで、養育者が社会資源を直接利用することのきっかけとなった。「発達障害いいところ探し」8/27 広場・拠点 22 名・地域 5 名・当事者親子」8 組 16 名名主催：発達障害児親の会 なのはな会 にこりんくオープンデー8/27 5 組 13 名 10/22 13 組 27 名 1/28 6 組 13 名 「母と子の愛のこもったコミュニケーション講座」 9/22 13 組 26 名 主催：ひとり親サポート横浜「ワークライフバランス講座」10/23 13 組 26 名 主催：男女共同参画センター よこはま・保育・教育コンシェルジュ、「ダウン症のおこさん集まれ」2/9※雪の為中止<ダウン症児サークルダイヤモンドキッズ>

(6) 開設時間 10 時～16 時（休館日：日・月・祝 年末年始）※拠点が定める休館日

(7) 収入内訳 補助金 31,265,736 円 利用料 0 円（入館料無料）

(8) 年間行事 ※活動実績については事業報告参照

OYAKO CLUB チューリップ おやこのひろば

- (1) 事業内容 事業名称 OYAKO CLUB チューリップ おやこのひろば
 対 象 0歳～未就学児とそのご家族の方 妊娠中の方
- (2) 所在地 横浜市栄区上郷町 106-1 第2ミサキビル 101号
 (TEL/FAX) 045-892-1030

(3) 職員 8名

職名	保育士	その他
常勤	0	0
非常勤	3	5

(4) 年間利用者数

活動日数	227日（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
利用者数	3,127人（利用組数 1,415組）
平均利用者数	13.8人／日（平均利用組数 6.2組／日）

※月別の詳細は以下票を参照

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均利用者数(人)	率(%)
開催日数	19日	20日	20日	20日	19日	18日	20日	19日	18日	17日	18日	19日	227日		
0才児	22	40	38	79	50	34	38	51	35	17	30	24	458	2.0	27.3
1才児	21	23	62	52	47	45	69	56	53	62	62	47	599	2.6	35.7
2才児	20	29	38	30	18	17	16	15	40	24	25	13	285	1.3	17.0
3才児	14	12	20	16	22	16	14	17	33	16	18	19	217	1.0	12.9
4才児	4	4	3	24	16	18	13	5	15	7	1	10	120	0.5	7.1
5才児															
6才児															
就学児															
子ども小計	81	108	161	201	153	130	150	144	176	126	136	113	1679	7.4	100
父	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	4	0.0	0.3
母	61	95	127	156	116	99	119	119	131	92	106	85	1306	5.8	90.2
祖父	0	0	3	1	1	1	2	2	4	0	1	0	15	0.1	1.0
祖母	1	0	3	2	4	0	1	2	3	7	3	2	28	0.1	1.9
本人以外の子ども	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

その他	12	11	6	8	4	10	7	15	15	4	3	0	95	0.4	6.6
親等小計	74	106	139	169	126	110	131	138	153	103	113	87	1448	6.4	100
合計	155	214	300	370	279	240	281	282	329	229	249	200	3127	13.8	

(5) 運営方針

地域子育て支援拠点事業の理念

事業目的 1 人と人との繋がりを大切にし、地域・利用者に貢献する。

事業目的 2 小さな成長などを言葉で伝え、母の気付きを促したり、喜びを共有する。

おやこの居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する人を温かく迎え入れ、安心してくつろいで過ごせる場所を提供した。 ・個々に来所された人同士話しやすい環境づくりを行うよう心掛け、スタッフが仲介役として話のきっかけづくりを行った。 ・初めての方や一組で来られた利用者が孤立しないよう会話に配慮し、安心して過ごせるよう働きかけた。 ・利用者同士が気軽に交流できてのんびり過ごせるよう安心して安全な場を提供した。 ・イベントや小麦粉粘土、新聞紙遊び、お誕生会などを行い乳幼児とその保護者が集いやすい場を提供した。 ・月1回、赤ちゃんの日を設け、同じような月齢の子どもを持つ楽しさや悩みなど情報交換や繋がりを持てるような場の提供を行った。 ・集団が苦手な利用者には、溶け込みやすいよう配慮し安心して過ごせるよう働きかけた。 ・お迎え、お見送りは、特に大切な時間と意識して安心安全を心掛けた。帰宅の際は、穏やかな気持ちで帰れるよう温かく見送った。
子育て相談	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が一人で悩みを抱え込まないよう、スタッフは身近な相談相手となるよう努め、話しやすい雰囲気づくりを心掛けた。 ・利用者から相談を受けた場合、丁寧に寄り添い傾聴を心掛け相談者が自ら解決出来るよう寄り添い支援した。 ・共有できる相談内容によっては、他の利用者にも声をかけ一人で悩まないように配慮した。 ・スタッフ同士の話し合いを大切にし、共通理解のもと個々のケースに対応した。 ・個々のケースについては、地域子育て支援拠点(子育てパートナーや子育てサポートシステム)など様々な専門機関と連携をとりながら、支援に努めた。 ・横浜子育てパートナーに定期訪問してもらい、気になる利用者の情報交換を行った。
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児の新規利用者には、育児教室などの情報について声かけをした。 ・情報コーナーを設け、区内外からの多様な情報を気軽に閲覧できるように工夫した。 ・感染症などの流行時には、最新の情報を伝え予防するよう呼びかけた。 <p>近隣の幼稚園や保育園、一時保育や子どもの遊び場、保育園の園庭開放などの情報を掲示した。ひろば通信を2ヶ月に一回発行、ホームページでも発信しプログラム活動などの情報提供を行った。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の回覧板から地域の情報をより分かりやすく提供し、利用者が積極的に地域活動に参加できるように促した。 ・市や区からの情報や地区センター、地域ケアプラザなどで催されるものを掲示し提供した。 ・子育て支援団体連絡会で得た情報を提供し、集える場が沢山あることを伝えた。
子育て支援に関する講習	<ul style="list-style-type: none"> ・わらべ歌、赤ちゃんの日、小麦粉粘土、新聞紙遊び、お誕生会(月 1 回)、タオル遊び(月 1 ~2 回) ・季節の製作…鯉のぼり製作(4/17~5/2)、ハロウィン製作(10/12~10/18)、節分製作(1/22 ~1/31)お雛様製作(2/18~3/1) ・その他ミニイベント…リユースしよう(6/14~6/22.12/3~12/7)、 ごろりんアート(8/17~8/23)、折り紙遊び (3/4~3/8) ・有料イベントぴよんちゃんと遊ぼう…春のお散歩(4/20)、布で遊ぼう(5/29)、 七夕飾り(6/27)、きよちゃんと遊ぼう(7/25)、野菜スタンプ(8/6)、親子ヨガ(9/29)、 プレイアート(10/23)、秋のお散歩(11/20)、クリスマス会(12/12)、 親子で遊ぼう(1/29)、からだを使って遊ぼう(2/5) ・マザーズハローワーク(7/17)、幼稚園ママのお話(9/20)、桂台保育園の先生のお話(11/5) ・毎日ランチ前と閉館前に手遊びや絵本の読み聞かせを行った。

(6) 開設時間 10 時～15 時（休館日：土・日・祝・第 4 月曜日 8/13～15、12/28～1/4）

(7) 収入内訳 利用料 100 円

(8) 年間行事計画

		イベント内容	開催場所	参加人数
4 月	20 日	春のお散歩	いたち川～公園	4 組 9 名
5 月	29 日	布で遊ぼう	中野地域ケアプラザ	9 組 18 名
6 月	27 日	七夕飾り	おやこのひろば	12 組 29 名
7 月	25 日	きよちゃんと遊ぼう	中野地域ケアプラザ	17 組 37 名
8 月	6 日	野菜スタンプ	おやこのひろば	11 組 23 名
9 月	25 日	親子ヨガ	桂台地域ケアプラザ	10 組 19 名
10 月	23 日	プレイアート	中野地域ケアプラザ	5 組 10 名
11 月	20 日	秋のお散歩	六反町公園	5 組 10 名
12 月	12 日	クリスマス会	JA 横浜本郷台東支店	20 組 45 名
1 月	29 日	親子で遊ぼう	上郷地区センター	9 組 20 名
2 月	5 日	からだを使って遊ぼう	中野地域ケアプラザ	11 組 22 名

年間開催活動

- ◆新聞紙遊び（23 組 53 名） ◆小麦粉粘土（36 組 65 名） ◆赤ちゃんの日（92 組名 177）
- ◆お誕生会（49 組 102 名） ◆ふれあい遊び（43 組 101 名） ◆わらべ歌（48 組 102 名）

製 作

- 4 月...鯉のぼり（11 組 22 名） 10 月...ハロウィン（26 組 57 名） 1 月...節分（15 組 30 名）
- 2 月...お雛様（21 組 45 名）

その他ミニイベント

- ◆リユースしよう（20 組 40 名） ◆ごろりんアート（33 組 71 名） ◆折り紙（2 組 4 名）
- ◆マザーズハローワーク（11 組 22 名） ◆幼稚園ママのお話（9 組 22 名）
- ◆桂台保育園の先生のお話（20 組 40 名）

区、および「にこりんく」主催イベント

- ◆さかえ次世代交流ステーション ステーションまつり(9/1)
- ◆栄区民まつり(11/3)
- ◆にこりんくふれあいコンサート(12/1)

OYAKO CLUB チューリップ おやこの駅ひろば

- (1) 事業内容 事業名称 OYAKO CLUB チューリップ おやこの駅ひろば
 対 象 0歳～未就学児とそのご家族の方、妊娠中の方、
 子育て支援や活動に興味のある方
- (2) 所在地 横浜市栄区笠間 4-11-6 グランフォレスト 1-B
 (TEL/FAX) 045-895-6320

(3) 職員 6名

職名	保育士	その他
人数	2	4

(4) 年間利用者数

	ひろば利用	一時預かり利用
活動日数	228 日 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)	224 日 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)
利用者数	4104 人 (利用組数 1934 組)	136 人 (総利用時間 384.50 時間)
平均利用者数	18.0 人/日 (平均利用組数 8.5 組/日)	0.6 人/日 (平均利用時間 1.7/時間)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均利用者数(人)	率(%)
開所日数	19日	20日	20日	20日	19日	18日	21日	19日	18日	17日	18日	19日	228日		
0歳児	28	45	74	59	31	47	59	76	69	61	57	55	661	2.9	30.6
1歳児	30	58	71	75	57	56	74	81	48	51	76	92	769	3.4	35.7
2歳児	24	33	31	32	32	34	33	18	30	34	30	37	368	1.6	17.1
3歳児	13	7	22	19	28	33	30	37	23	24	26	27	289	1.3	13.4
4歳児															
5歳児															
6歳児	4	4	4	14	8	1	3	8	1	2	3	18	70	0.3	3.2
就学児															
子ども小計	99	147	202	199	156	171	199	220	171	172	192	229	2157	9.5	100
父	0	2	0	2	3	2	1	3	1	0	1	2	17	0.1	0.9
母	85	131	187	170	128	146	182	194	146	144	169	191	1873	8.2	96.2
祖父	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
祖母	1	5	5	7	3	5	5	7	0	1	1	2	42	0.2	2.2
本人以外の子ども	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	7	14	0.0	0.7
親等小計	86	138	192	179	134	153	188	207	151	145	171	203	1947	8.5	100

合計	185	285	394	378	290	324	387	427	322	317	363	432	4104	18.0	100
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-----

※ひろば利用実績表

※一時預かり利用実績表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	率
開所日数	19日	20日	19日	20日	19日	17日	21日	19日	17日	17日	17日	19日	224日	(%)
0歳児	0	1	2	3	0	0	0	2	0	1	1	4	14	10%
1歳児	3	2	2	6	6	4	9	7	6	3	7	9	64	47%
2歳児	0	0	2	0	1	1	2	2	5	4	8	4	29	21%
3歳児	0	1	1	0	2	2	7	4	2	2	4	3	28	21%
4歳児以上	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1%
預かり児童数	3	4	7	10	9	7	18	15	13	10	20	20	136	100
利用者(養育者数)	3	4	7	10	7	7	18	15	13	10	20	20	134	
0歳児	0.00	2.00	4.50	7.50	0.00	0.00	0.00	5.00	0.00	2.00	3.00	8.00	32.00	8%
1歳児	10.00	6.50	8.00	17.00	18.50	11.50	29.00	23.50	20.50	8.50	17.00	20.00	190.00	49%
2歳児	0.00	0.00	6.00	0.00	1.00	7.00	6.50	7.50	13.50	8.50	18.00	10.50	78.50	20%
3歳児	0.00	4.00	1.50	0.00	8.00	2.50	20.50	10.50	7.00	8.00	13.50	7.50	83.00	22%
4歳児以上	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0%
総利用時間(時間)	10.00	12.50	20.00	25.50	27.50	21.00	56.00	46.50	41.00	27.00	51.50	46.0	384.50	100

(5) 運営方針

地域子育て支援拠点事業の理念

「命を大切に」「ふれあいの輪を広げる」「今という瞬間、その時を大切に」の団体の理念を基に、様々な機関と地域のつながりを築き子育て支援の輪を広げる。

おやこの居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児が集いやすく異年齢同士でも交流が深められるよう努めた。 ・利用者同士が気軽に交流でき、ゆっくり過ごせる場所になるよう心掛けた。 ・地域ケアプラザと連携をとり、子どもたちが活発に動いて遊べる場を提供し、普段ひろばではできない遊びや親子のふれ合い遊びなどを経験してもらうことができた。 ・安全で安心して利用できるようひろば内の点検や環境設定に注意を払った。
子育て相談	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が一人で悩みを抱え込まないようスタッフは身近な相談相手として寄り添うよう努めた。 ・受容と共感を通して相談者が不安を解消し、自ら解決できるように努めた。 ・支援を必要とする場合は関係機関などと連携を図った。
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナーを設け、区内外からの多様な情報や育児、感染症予防などについての提供を行った。 ・地域子育て支援拠点や関連機関、地域の行事などの情報提供をして、利用者が積極的に参加で

	きるよう働きかけた。
子育て支援に関する講習	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフは知識向上のための内部研修に月 1 回参加、及び、外部研修にも積極的に参加した。 ・年齢に応じた遊びの提供ができるようスキルアップを図った。

(6) 開設時間

9 時 30 分～15 時 30 分（休館日：土、日、第 4 月曜、祝日、夏期 8/13～15、年末年始 12/28～1/4）

(7) 収入内訳

利用料 ひろば利用料：100 円/日（大人 1 人につき）

一時預かり利用料：400 円/時間

(8) 年間行事計画

月	主な活動	備考(年度内調整)
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居の日（1 組 2 名）・おやこ遊び（3 組 6 名）・米粉粘土（4 組 8 名） ・リトミック（2 組 4 名）・おはなしの日（1 組 2 名） ・こいのぼり製作ウィーク（8 組 14 名） ☆手遊び、絵本読み 	※笠間地域ケアプラザとの共催 1 地区 年間 4 回 ※にこりんくとの共催
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙遊び（6 組 13 名）・リトミック（12 組 24 名）・米粉粘土（7 組 15 名） ・おはなしの日（6 組 13 名）・わらべうた（8 組 18 名） ・おやこ遊び（3 組 6 名） ☆手遊び、絵本読み 	年間 2 回 ※毎月第 4 月曜日 ミーティング、研修
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・6/14 出張ひろば(パラバルーン、風船遊び、手形・うちわ製作、手遊び、絵本読み) (13 組 26 名) ・シャボン玉（8 組 16 名）・おやこ遊び（8 組 16 名）・おはなしの日（4 組 8 名） ・リトミック(20 組 41 名)・新聞紙遊び（9 組 19 名） ・ベビーマッサージ（5 組 10 名） ☆手遊び、絵本読み 	
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・7/5 リエゾン出張ひろば（パラバルーン、水遊び製作、手遊び、パネルシアター、手遊び、パネルシアター）(12 組 24 名) ・七夕飾りを作ろう（17 組 38 名）・水遊び 3 回（21 組 42 名） ・シャボン玉（7 組 15 名）・ベビーマッサージ（5 組 10 名） ・おやこ遊び（1 組 2 名）・おはなしの日（2 組 4 名） ☆手遊び、絵本読み 	
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊び 2 回(12 組 24 名)・おやこ遊び(2 組 4 名)・折り紙の日(4 組 10 名) ・ベビーマッサージ（4 組 8 名） ☆手遊び、絵本読み 	

9月	<ul style="list-style-type: none"> ・9/13 出張ひろば(ミニ運動会、障害物競争、玉入れ、手遊び、絵本読み) (12組 25名) ・おやこ遊び (3組 7名)・リトミック (4組 8名)・ベビーマッサージ (4組 8名) ・おはなしの日 (3組 6名)・マザーズハローワーク (8組 17名) <p>☆手遊び、絵本読み</p>	
----	--	--

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・10/11 リエゾン出張ひろば (まねっこ遊び、パラバルーン、野菜・果物狩りごっこ、おべんとう製作、手遊び、絵本読み) (11組 23名) ・避難訓練 (5組 10名)・親子遊び (8組 18名)・折り紙の日 (9組 16名) ・リトミック(11組 23名)・ベビーマッサージ (3組 6名)・おはなしの日 (6組 7名) ・新聞紙遊び (8組 16名)・ハロウィンパーティー(14組 28名) <p>☆手遊び、絵本読み</p>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・米粉粘土 (11組 25名)・シャボン玉 (6組 14名)・ベビーマッサージ (2組 2名) ・リトミック (8組 17名)・足形アート (24組 49名)・おやこ遊び (2組 6名) <p>☆手遊び、絵本読み</p>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・12/13 出張ひろば(クリスマス会、楽器製作・遊び、ゲーム遊び、手遊び、ダンボールシアター) (20組 44名) ・米粉粘土 (6組 13名)・虹のふれあいコンサート・ベビーマッサージ (5組 10名) ・おやこ遊び(3組 8名)・クリスマスパーティー (7組 15名) ・おはなしの日 (3組 6名) <p>☆手遊び、絵本読み</p>	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・おやこ遊び (1組 3名)・リトミック (6組 12名)・ベビーマッサージ (5組 10名) ・折り紙の日 (5組 10名)・節分製作ウィーク (19組 42名) <p>☆手遊び、絵本読み</p>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・2/14 出張ひろば (わらべうた、お面製作、お話しで遊ぼう、手遊び、絵本読み) (12組 25名) ・節分の日 (7組 15名)・おやこ遊び (6組 12名)・米粉粘土 (5組 13名) ・ひなまつり製作ウィーク (15組 31名) <p>☆手遊び、絵本読み</p>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひなまつり (6組 12名)・新聞紙遊び (4組 9名)・リトミック (7組 17名) ・ベビーマッサージ (5組 10名)・折り紙の日 (6組 9名) <p>☆手遊び、絵本読み</p>	

横浜市乳幼児一時預かり事業(通常型)

- (1) 事業内容 事業名称 OYAKOCLUB チューリップ保育室
 対 象 生後 57 日～就学前
- (2) 所在地 横浜市栄区公田町 497-7 こみね第一ビル 1F
 (TEL/FAX) 045-896-6262

(3) 職員 12 名

職名	保育士	その他
常勤	1	
非常勤	5	5

(4) 年間利用者数

活動日数	244 日（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）
利用者数	3, 684 人
平均利用者数	15 人/日

※月別の詳細は以下票を参照

一時預かり

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	率
稼働日数	20日	21日	21日	21日	23日	18日	22日	21日	19日	19日	19日	20日	244日	(%)
0歳児	26	29	51	64	60	70	84	97	60	49	56	58	704	19
1歳児	117	113	95	111	79	87	112	136	105	114	118	131	1318	36
2歳児	79	90	87	67	56	98	114	99	103	75	90	81	1039	28
3歳児	39	5	16	27	36	23	38	37	36	48	65	61	431	12
4歳以上	29	3	9	31	44	3	15	8	16	9	6	19	192	5
合計	290	240	258	300	275	281	363	377	320	295	335	350	3684	69.8
平均利用人数	15	11	12	14	13	16	17	18	17	16	18	18	15	
予約	334	283	309	398	345	326	433	452	414	389	424	415	4522	
緊急預かり	5	2	1	0	3	1	1	3	6	1	1	1	25	

新規登録	19	14	16	11	16	18	22	28	9	16	15	15	199	
------	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	-----	--

(5) 運営方針

地域子育て支援拠点事業の理念

事業目的 1 《一緒に遊ぼう！一緒に笑おう！一緒に話そう！》「子育てを一人で頑張らないで！」というメッセージを常に発信し、子育て中の親子を地域でサポートすることを目的としている。

事業目的 2 一人ひとりの発達に応じた生活リズムを大切にし、安全で清潔な環境の中、健康で過ごせる環境を保障する。

保育	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの個性を大切に、成長に応じた声掛けをし、いつも暖かい目線で気を配る。 子どもたちが笑顔で安全に過ごせるよう配慮。 対面遊びやふれあい遊びなどを多く取り入れ、保育者との信頼関係の構築。 保育室で初めて出会ったお友だちとの交流がスムーズにいくよう保育者が関わり一緒に遊べるように配慮。
健康	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じた健康観察や身体測定。 ・感染症の早期発見。拡大防止の対応。 一人ひとりの様子を確認し体調の異変、感染症や虐待等の早期発見にも繋げる。 生活習慣を指導し（手洗い・うがい）新しい環境での流れや仕方を伝えていく。 ・飲料水の濁りや臭い、異物の混入などの確認。 衛生管理、食中毒、感染症など各種マニュアルの整備確認。
安全	<ul style="list-style-type: none"> 毎月避難訓練の実地。（地震・火災・不審者） ・施設、備品の安全点検および清潔の保持。 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防のためブレスチェックの徹底。 ヒヤリハットの原因確認と情報共有。 ・遊具、玩具の安全点検、消毒の徹底。
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 保育士による子育て相談を随時行う。 実家が遠く離れている養育者や初めての子育てに疲れている養育者に寄り添い、暖かく見守り、子育ての楽しさを伝えていく。 区福祉保健センター、区社会福祉協議会、地域ケアプラザなどと連携し、特に気になるケースについては担当保健師、助産師と相談し対応。 障害、軽度発達障害の専門機関と連携を取る。

(6) 開設時間 9時～17時（お休み：土・日・祝 年末年始）

(7) 収入内訳
 一時預かり補助金 12,341,970円
 震災対策物品購入補助金 30,000円
 保育料 6,109,050円

月	主な活動
4月	歌→はじまるよ 手遊び→キャベツの中からあおむし 製作→こいのぼり 避難訓練 4/11 身体測定 4/23～26
5月	歌→ちょうちょ 手遊び→やさいのうた 製作→うさぎとねこのお面 避難訓練 5/9 身体測定 5/28～31
6月	歌→めだかの学校 手遊び→おおきくなったらなんになる 製作→うさぎとカエルのテルテル坊主 避難訓練 6/21 身体測定 6/25～29
7月	歌→山の音楽家 手遊び→ミッキーマウスマーチ 製作→カニさん 避難訓練 7/23 身体測定 7/23～30
8月	歌→あめのひくまのこ 手遊び→ピクニック 製作→かきごおり 避難訓練 8/30 身体測定 8/27～31
9月	歌→ふしぎなポケット 手遊び→3匹の子ブタ 製作→とんぼ 避難訓練 9/11 身体測定 9/25～28
10月	歌→おばけなんてないさ 手遊び→3匹の子ブタ 製作→ハロウィン 避難訓練 10/23 身体測定 10/25～31
11月	歌→まつぼっくり 手遊び→3匹の子ブタ 製作→もこもこひつじ 区民祭り 11/3 避難訓練 11/14 身体測定 11/27～30

12月	歌→赤鼻のトナカイ 手遊び→クリスマスケーキ 製作→サンタさん 避難訓練 12/12 身体測定 12/25～27
1月	歌→北風小僧の寒太郎 手遊び→コンコンクシヤンの歌 製作→節分オニカップ 避難訓練 1/25 身体測定 1/28～31
2月	歌→たきび/ひなまつり 手遊び→焼き芋グーチャーパー 製作→おひなさま 避難訓練 2/27 身体測定 2/25～28
3月	歌→ひなまつり/飛んでったバナナ 手遊び→おべんとうばこのうた 製作→カラフルあおむし 避難訓練 3/29 身体測定 3/25～3/29

認可外保育

(1) 事業内容 事業名称 OYAKOCLUB チューリップ保育室
対 象 生後 5 7 日～就学前

(2) 所在地 横浜市公田町 4 9 7-7 こみね第一ビル 1F
(TEL/FAX) 045-895-6320

(3) 職員 11 名

職名	保育士	その他
常勤	1	
非常勤	5	5

(4) 年間利用者数

活動日数	244日（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
利用者数	一時預かり3,684人 / 市外169人 / 時間外22人
平均利用者数	16人/日

※月別の詳細は以下票を参照

一時預かり

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	率
稼働日数	20日	21日	21日	21日	23日	18日	22日	21日	19日	19日	19日	20日	244日	(%)
0歳児	26	29	51	64	60	70	84	97	60	49	56	58	704	19
1歳児	117	113	95	111	79	87	112	136	105	114	118	131	1318	36
2歳児	79	90	87	67	56	98	114	99	103	75	90	81	1039	28
3歳児	39	5	16	27	36	23	38	37	36	48	65	61	431	12
4歳以上	29	3	9	31	44	3	15	8	16	9	6	19	192	5
合計	290	240	258	300	275	281	363	377	320	295	335	350	3684	69.8

平均利用人数	15	11	12	14	13	16	17	18	17	16	18	18	15
予約	334	283	309	398	345	326	433	452	414	389	424	415	4522
緊急預かり	5	2	1	0	3	1	1	3	6	1	1	1	25
新規登録	19	14	16	11	16	18	22	28	9	16	15	15	199

市外・時間外

(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	20日	21日	21日	21日	23日	18日	22日	21日	19日	19日	19日	20日	244.日
0歳児	1	0	2	3	0	3	4	0	8	6	10	13	50
1歳児	6	4	5	8	5	4	6	5	2	3	4	7	59
2歳児	3	0	1	0	1	0	2	1	0	2	0	3	13
3歳児	0	0	2	4	3	1	0	0	1	2	1	1	15
4歳以上	28	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	32
合計	38	4	10	17	10	8	12	6	11	13	15	25	169
時間外	0	1	0	4	3	2	0	1	1	3	4	3	22

(5) 運営方針

地域子育て支援拠点事業の理念

事業目的 1 《一緒に遊ぼう！一緒に笑おう！一緒に話そう！》「子育てを一人で頑張らないで！」というメッセージを常に発信し、子育て中の親子を地域でサポートすることを目的としている。

事業目的 2 一人ひとりの発達に応じた生活リズムを大切にし、安全で清潔な環境の中、健康で過ごせる環境を保障する。

保育	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの個性を大切に、成長に応じた声掛けをし、いつも暖かい目線で気を配る。 子どもたちが笑顔で安全に過ごせるよう配慮。 対面遊びやふれあい遊びなどを多く取り入れ、保育者との信頼関係の構築。 保育室で初めて出会ったお友だちとの交流がスムーズにいくよう保育者が関わり一緒に遊べるように配慮。
健康	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じた健康観察や身体測定。 感染症の早期発見。拡大防止の対応。 一人ひとりの様子を確認し体調の異変、感染症や虐待等の早期発見にも繋げる。 生活習慣を指導し（手洗い・うがい）新しい環境での流れや仕方を伝えていく。 飲料水の濁りや臭い、異物の混入などの確認。 衛生管理、食中毒、感染症など各種マニュアルの整備確認。
安全	<ul style="list-style-type: none"> 毎月避難訓練の実地。（地震・火災・不審者） 施設、備品の安全点検および清潔の保持。 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防のためプレスチェックの徹底。 ヒヤリハットの原因確認と情報共有。 遊具、玩具の安全点検、消毒の徹底。

家庭・地域との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士による子育て相談を随時行う。 ・実家が遠く離れている養育者や初めての子育てに疲れている養育者に寄り添い、暖かく見守り、子育ての楽しさを伝えていく。 ・区福祉保健センター、区社会福祉協議会、地域ケアプラザなどと連携し、特に気になるケースについては担当保健師、助産師と相談し対応。 ・障害、軽度発達障害の専門機関と連携を取る。
---------------	--

(6) 開設時間 9時～17時（お休み：土・日・祝 年末年始）

(7) 収入内訳

乳幼児一時預かり補助金	12,341,970円
震災対策物品購入補助金	30,000円
一時預かり保育料	6,109,050円
市外・時間外保育料等	527,700円
認可外助成金	20,600円

月	主な活動
4月	歌→はじまるよ 手遊び→キャベツの中からあおむし 製作→こいのぼり 避難訓練 4/11 身体測定 4/23～26
5月	歌→ちょうちょ 手遊び→やさいのうた 製作→うさぎとねこのお面 避難訓練 5/9 身体測定 5/28～31
6月	歌→めだかの学校 手遊び→おおきくなったらなんになる 製作→うさぎとカエルのテルテル坊主 避難訓練 6/21 身体測定 6/25～29
7月	歌→山の音楽家 手遊び→ミッキーマウスマーチ 製作→カニさん 避難訓練 7/23 身体測定 7/23～30
8月	歌→あめのひくまのこ 手遊び→ピクニック 製作→かきごおり 避難訓練 8/30 身体測定 8/27～31
9月	歌→ふしぎなポケット 手遊び→3匹の子ブタ 製作→とんぼ 避難訓練 9/11 身体測定 9/25～28
10月	歌→おばけなんてないさ 手遊び→3匹の子ブタ 製作→ハロウィン 避難訓練 10/23 身体測定 10/25～31
11月	歌→まつぼっくり 手遊び→3匹の子ブタ 製作→もこもこひつじ 区民祭り 11/3 避難訓練 11/14 身体測定 11/27～30
12月	歌→赤鼻のトナカイ 手遊び→クリスマスケーキ 製作→サンタさん 避難訓練 12/12 身体測定 12/25～27
1月	歌→北風小僧の寒太郎 手遊び→コンコンクシヤンの歌 製作→節分オニカップ

	避難訓練 1/25 身体測定 1/28～31
2月	歌→たきび/ひなまつり 手遊び→焼き芋グーチャーパー 製作→おひなさま 避難訓練 2/27 身体測定 2/25～28
3月	歌→ひなまつり/飛んでったバナナ 手遊び→おべんとうばこのうた 製作→カラフルあおむし 避難訓練 3/29 身体測定 3/25～3/29

小規模保育事業 チューリップ保育室

(1) 事業内容 事業名称 小規模保育事業 チューリップ保育室

対 象 0歳児～2歳児

(2) 所在地 横浜市栄区桂町 275-21

(TEL/FAX) 045-894-1214

(3) 職員 15名

職名	保育士	その他
常勤	2	0
非常勤	8	2
調理	3	

(4) 開所日・保育定員

開所日	月曜日から土曜日（日曜日、祝祭日、年末年始を除く）
利用定員	19人
定員内訳	0歳児...7名、1歳児...7名、2歳児...5名

※月別の詳細は以下票を参照

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	5	6	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6
1歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8
2歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
計	17	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19

(5) 保育理

念・保育方針

保育理念

- ・子ども達が主役。自然に触れ合い、一人ひとりの遊び興味を大事にします。

保育方針

- ・子どもの生きる力を大切にします。
- ・子どものつながる力、支え合う力を大切に。
- ・子どものその瞬間の思いを大切にする

(6) 開所時間 月曜日から金曜日午前 7 時 45 分～午後 18 時 45 分まで
土曜日 午前 7 時 45 分～午後 15 時 45 分まで

(7) 利用料（利用者負担） 保護者が居住する市町村が定める利用料

(8) 年間行事計画

月	主な活動	
4 月	お花見（4/10）・お誕生日会（4/12） 避難訓練（4/26）	ミーティング・研修 カンファレンス
5 月	子どもの日（5/1） 避難訓練（5/23）	ミーティング カンファレンス
6 月	じゃがいも掘り（6/8）お誕生日会（6/12）歯科検診 （6/28）・避難訓練（6/29）	ミーティング・研修 カンファレンス
7 月	七夕（7/7）・水遊び 避難訓練（7/31）	ミーティング カンファレンス
8 月	水遊び・お誕生日会（8/20） 避難訓練（8/28）	ミーティング・研修 カンファレンス
9 月	お月見（9/7）・お誕生日会（9/15）・往診による健康診 断（9/20・21・25）・2 歳児保育参観（9/28） 避難訓練（9/19）	ミーティング・研修 カンファレンス
10 月	0 歳児保育参観（10/13）・お誕生日会（10/26） 避難訓練（10/30）	ミーティング・研修 カンファレンス
11 月	1 歳児保育参観（11/10）・さつまいもほり（11/27） お誕生日会（11/5）・保護者講座・避難訓練（11/17）・ 保育交流会（11/28）	ミーティング・研修 カンファレンス
12 月	個人面談・クリスマス会（12/25）・避難訓練（12/28）	ミーティング・研修 カンファレンス
1 月	お正月遊び（1/5）・お誕生日会（1/7）・避難訓練（1/10）	ミーティング・研修 カンファレンス
2 月	節分（2/1）・歯科健診（2/14）・避難訓練（2/26）	ミーティング・研修 カンファレンス

3 月	ひなまつり (3/1) 2 歳児保育参観 (3/2) 個人面談 (3/6) お誕生日会 (3/15) ・往診による健康診断 (3/10) 避難訓練 (3/23) ・お別れ会 (3/28)	ミーティング カンファレンス
-----	---	-------------------

(1) 事業内容 事業名称 栄区青少年の地域活動拠点 フレンズ☆SAKAE
 対 象 中・高校生世代を中心とした青少年

(2) 所在地 横浜市栄区桂町 711 番地「さかえ次世代交流ステーション」2 階
 045-898-1400

(3) 職員 2 名

職名	保育士	その他
常勤	0	0
非常勤	0	2

(4) 年間利用者数

活動日数	日（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）
利用者数	5,988 人
平均利用者数	24.41 人／日

※月別の詳細は以下の表を参照

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	1 日 平均	率 (%)
開所日数	16 日	16 日	18 日	18 日	16 日	18 日	20 日	16 日	16 日	16 日	16 日	19 日	205 日		
未就学児	3	6	6	5	3	286	2	5	2	12	8	6	344	1.6	5.7
小学生	209	183	183	177	200	355	236	207	134	129	210	234	2,457	11.2	41
中学生	89	93	104	118	109	150	152	110	138	84	135	186	1,468	7.2	24.5
高校生	32	33	84	32	33	51	28	20	35	23	54	53	478	2.3	8
その他学生	0	1	3	3	0	8	4	1	2	2	1	0	25	0.1	0.4
青少年計	333	316	380	335	345	850	422	343	311	250	408	479	4,772	23.3	80
大人	55	40	55	52	31	535	56	72	78	52	62	128	1,216	5.9	20
合計	388	356	435	387	376	1,385	478	415	389	302	470	607	5,988	29.2	100

(5) 運営方針

青少年の地域活動拠点事業の理念

事業目的 学校や地域等の支援や協力を得ながら、中・高校生世代の青少年が安心して集う場や
 様々な体験交流の場を提供することで、青少年の成長を支援することを目的とする。

(6) 開設時間 火・水・金曜日 15 時～20 時

土曜日 10 時～18 時 休館日：日・月・木・祝 年末年始

(7) 収入内訳 カフェ利用料、プログラム参加費、おまつり等収入 372,7174 円（入館料無料）

横浜市補助金 3,990,000 円

(8) 年間活動報告

活動内容		
月	月毎	年間
4月	進級&入学祝い 3名	●青少年の学習支援事業 毎週火曜日に加え、6月からは金曜日に地域のボランティアの協力の下で学習支援を行った。 81回 228名
5月	母の日の小物作り 11名	
6月	花壇の手入れ 随時	
7月	29年度活動報告 区内全中学校へ配布 ティーンズクリエイションプレイベント 7名 陶芸 15名	●体験活動事業 地域の団体や個人の指導で、様々な体験活動を行った。 陶芸 1回 15名 調理 18回 72名 書道 2回 8名 アート 51回 236名 ダンス 34回 370名
8月	桂山公園プレイパーク ボランティア 4名 いたち川まつり 参加 ボランティア 4名	
9月	ステーションまつり ボランティア 19名 ダンス 2名 team FRIENDS 14名	●自主活動事業 利用者や区内の中学校に向けてボランティアを募集し、様々な活動を行った。 プレイパーク 4名 地域行事、サロン 10名 にこりんく 防災講座 1名 ステーションまつり 16名 スポーツフェスタ 4名 栄区民まつり 22名 SAKAE ヤングフェスティバル 15名
10月	さかえスポーツフェスタ 参加 ボランティア 4名	
11月	栄区民まつり 中高生ボランティア 12名	
12月	にこりんく虹のふれあいコンサート (ダンス) 12名 書道体験 12名	
1月	書道体験 5名	
2月	SAKAE ヤングフェスティバル準備 6名	●ティーンズクリエイション 企画会議参加 15回 9名 プレイベント フレンズ☆SAKAE にて実施 7名 作品展 11/21～11/25 延べ参加 84名
3月	SAKAE ヤングフェスティバル 栄村物産販売&ワークショップボランティア 9名 ステージ team FRIENDS 11名	
		●大人のための NEXT GENERATION 講座 3回 56名 ●その他の活動 さかえ竹の鼓K I D ♪の活動支援 ※毎月第4月曜日 法人子育て部門 ミーティング・研修